

名古屋芸術大学

後援会報

第41号 2006年9月20日発行



## ごあいさつ



後援会長 水谷 友彦

新秋の涼が爽やかな季節、名古屋芸術大学後援会の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は後援会活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る5月の後援会総会において後援会長を拝命いたしました。浅学非才の私には身に余る光栄であり、その責務の大きさを痛感しております。この一年間、皆様のご支援と後援会事業へのご参加を切にお願いいたします。

この数年、社会の変革とともに大学を取り巻く環境も大きく変わり、国・公・私立を問わず改革の波に晒されています。その中であって、名古屋芸術大学は常に新しい取り組みをされ、学部の新設と再編、および施設の拡充を計られてきました。そこには、学問・芸術の府としてだけでなく、人づくりの精神が貫かれています。来年度より『人間発達学部』が新設されます。大学の発展に伴い、後援会の果たす役割も一層増してくると思いますが、皆様と共に期待を込めてエールを送りたいと思います。

さて、学生の皆さんには充実した大学生活を過ごしておられることと拝察します。美術・音楽・デザイン、各々の目指す道は遠く、困難なことが多いでしょう。しかし、常にひたむきに努力することで道は拓けるものです。社会のニーズは多様化しており、進路を決めるのも簡単ではないと思いますが、いつも前向きで歩んでください。皆さんの成長を心から祈っています。



学長 柳 達雄

名古屋芸術大学後援会役員の皆様をはじめ保護者の皆様には、日頃から本学の学生生活充実のための条件整備に、暖かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

2005年1月の中央教育審議会答申「高等教育の将来像」は、『大学・短期大学の進学率は、1999年度約49%になり、その後ほぼ一定で推移しており、専門学校を含めた進学率は、2004年度74.5%に達し、現在すでに高等教育を受ける同年齢若年人口の過半数となる。』というユニバーサル段階に突入しているとしています。そして早急に取り組むべき重点施策の一つとして、各高等教育機関の個性・特色の明確化をあげています。したがって、各大学においても、個性・特色を明確にすることが不可避的に要請されることになりました。

名古屋芸術大学は、音楽学部・美術学部・デザイン学部、およびそれぞれの大学院研究科を擁し、私立大学における芸術系総合大学として特色を発揮してきています。本学は、地域の自治体や諸団体とも友好関係を結ぶなど、地域に根ざすとともに、東海・日本全体・世界に開かれた大学として活動を進展させてきています。そのうえに、現在第4の学部として、新学部「人間発達学部子ども発達学科」の設置認可申請中であります。新学部では、小学校教諭および幼稚園教諭、ならびに保育士の資格取得が可能となっています。この新学部の開設は、上記の本学の特色をより豊かにするものと確信しています。

## 後援会の皆様へー 学長退任のごあいさつ



前学長

**大島俊三**

芸大教員就任後の5年目の昭和55年当時、牧学長より後援会担当の職務を命じられ、以後25年間にわたり後

援会には格別お世話になりました。

当時後援会は名称のみで、会則もなく会長も不在の状態、会費のみが徴収されていました。そこで新たに後援会設立が会員から呼びかけられ、初代会長として黒川氏（故人）が選出されました。当初は理事会との教育環境整備について直接交渉などが行われ学生授業放棄（ストライキ）など騒然とした雰囲気でした。以後、大学も正常化に向けた軌道にのり、この間の後援会長さん始め役員の方々には大変なご苦勞をおかけしました。

名古屋芸術大学の後援会は顧問制度を置き、歴代の役員・委員の方々が総会や研修旅行に参加され、また絵画クラブ「壁の花」や合唱クラブ「せせらぎ」も活発な活動が持続されており、全国的にみても極めてユニークな後援会組織であります。教員在任中には多くの会員の皆様には大変なご支援を頂き、とりわけ学長在任の16年間にお受けしたご好意は人生の大きな思い出です。

最後になりますが、去る4月1日には多数の後援会有志の皆さんに退任パーティーをして頂き家内共々ご招待をうけ本当に感激いたしました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。さらに後援会の皆様には今後も名古屋芸術大学発展充実に変わらぬご支援をお願い致します。



◀4月1日  
大島学長感謝の会

## 2006年度 入学式

満開の桜の中、雨上がりのキャンパスで挙行される

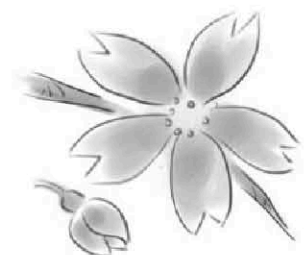


2006年度の名古屋芸術大学及び同大短期大学部合同の入学式が、4月8日午前11時から同大学西キャンパス体育館で行われました。

名古屋芸術大学ウインド・オーケストラの前奏に続いて、開式の辞があり、大学院・学部・短大部あわせて793名の入学が許可されました。

4月より新しく就任された榊学長は、式辞の中で、名古屋芸術大学は「音楽と美術・デザインの学部を有する芸術の総合大学」として誇りを持つる大学であること。現在、世の中は国際化・情報化が益々進展し、このため複雑化・流動化の様相を呈している。したがって、個々人は、自己の能力を磨き、意欲を持って対処することが求められる。ただ待っているだけでなく、自ら主体的にかつ問題意識を持って行動することが大切であること。更に、希望や目標を達成するためには、地道な努力が大切である点を、新入生への臚の言葉とされた。

学長式辞に続いて、音楽学部演奏学科声楽コースの近藤加奈子さんが、入学生代表として宣誓を行いました。その後、理事長挨拶、来賓紹介、教員役職者紹介があり、式典は終了しました。



## 2006年度 名古屋芸術大学後援会 定期総会

2006年5月14日(日)13時30分より、西キャンパスB棟大講義室にて2006年度 名古屋芸術大学後援会定期総会が開催されました。

### 2005年度 名古屋芸術大学後援会事業報告

月日	事業内容	開催場所
4月8日	入学式参列(2004年度名知会長、佐分副会長)	西キャンパス
5月7日	2004年度役員会	名駅
5月15日	2005年度後援会定期総会事前打合せ 2005年度後援会定期総会	西キャンパス
6月1日	法人より委託徴収金振替(西キャンパス分)	
6月3日 ～5日	イギリス プライトン大学ディグリーショウ 佐分会長、大島学長、和田デザイン学部長参加	イギリス
6月10日	後援会より補助金各学部一括交付	
6月26日	第1回役員会(所属委員会決定)	名駅
6月28日	法人より委託徴収金振替(東キャンパス分)	
7月9日	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	西キャンパス
9月20日	名古屋芸術大学後援会報第39号発行	
10月1日 ～2日	後援会研修旅行 1泊2日 (福井市立美術館、金沢21世紀美術館)	
11月3日	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月中旬	法人より委託徴収金振替(第2回)	
1月14日	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	名駅
2月26日	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	西キャンパス
3月3日	プライトン大学賞表彰式(会長)	名古屋東急ホテル
3月17日	名古屋芸術大学後援会報第40号発行	
3月23日	卒業式参列(会長、副会長(総務委員長))	名古屋市民会館
3月23日	謝恩会出席(会長、役員)	ホテルマリオットアソシア
4月1日	大島学長感謝の会(大島学長退任のため)	金山
4月15日	2005年度会計監査(監査2名)	西キャンパス
4月22日	第6回役員会(定期総会準備)	名駅

### <後援会補助公開講座等一覧>

月日	事業内容	開催場所
5月	日本・ドイツ学生ポスター交流展後援	名古屋国際センター
5月～6月	「FROM REMISEN」展 後援	西キャンパス
6月～9月	プレーメン名古屋アートプロジェクト2005 後援	北名古屋市他
7月～8月	日本イペロアメリカ版画交流 後援	西キャンパス他
10月～11月	アルベルト・ゴンザロ展 後援	西キャンパス
10月20日	音楽学部公開講座 かきつのか等曲演奏会 「いるはに邦楽：合奏の会」後援	東キャンパス
1月～2月	「AFTER REMISEN」展 後援	西キャンパス
3月4日	第33回卒業制作展記念講演会 「渡辺えり子講演会」後援	愛知芸術文化センター
備考	以上のほかにも、後援会後援公開講座、就職活動補助事業、国際交流補助事業、施設・設備補助事業、授業料貸付事業等を行いました。	

### 次 第

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ
3. 学長あいさつ
4. 大学関係者あいさつ(音楽学部長、美術学部長代理、デザイン学部長)
5. 議長選任
6. 議 事
  - (1) 2005年度事業報告承認の件
  - (2) 2005年度会計決算報告承認の件
  - (3) 2005年度会計監査報告
  - (4) 2006年度事業計画案承認の件
  - (5) 2006年度予算案承認の件
  - (6) 2006年度役員改選
7. 旧役員あいさつ
8. 新役員紹介
9. 大学報告(学生部長、教務学生課長、就職課長)
10. 感謝状贈呈
11. 閉会のことば

### 2006年度 名古屋芸術大学後援会事業計画

月日	事業内容	開催場所
4月8日	入学式参列(2005年度佐分会長、笹野副会長)	西キャンパス
4月15日	2005年度会計監査(監査2名)	西キャンパス
5月14日	2006年度後援会定期総会事前打合せ 2006年度後援会定期総会	西キャンパス
6月上旬 ～下旬	法人より委託徴収金振替	
6月1日 ～5日	イギリス プライトン大学ディグリーショウ 後援会会長他大学関係者参加	イギリス
6月中旬	後援会より補助金各学部一括交付	
6月24日	第1回役員会(所属委員会決定)	
7月上旬	所属委員会決定のお知らせ	
7月8日	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	西キャンパス
9月 中下旬	名古屋芸術大学後援会報第41号発行	
10月21日 ～22日	後援会研修旅行 1泊2日 (宝塚劇場、奈良県立美術館)	
11月3日	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月中旬	法人より委託徴収金振替(第2回)	
1月上旬	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	
2月下旬	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	西キャンパス
3月上旬	プライトン大学賞表彰式(会長)	
3月 中下旬	名古屋芸術大学後援会報第42号発行	
3月22日	卒業式参列(会長、副会長(総務委員長))	名古屋市民会館
3月22日	謝恩会出席(会長、役員)	
3月下旬	第6回役員会(定期総会準備他)	
備考	以上のほかにも、後援会後援公開講座、就職活動補助事業、国際交流補助事業、施設・設備補助事業、授業料貸付事業等を行います。	

## ■2005年度 名古屋芸術大学後援会 決算書

### 1. 一般会計

2005.4.1~2006.3.31 単位：円

#### 収入の部

	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
前年度繰越金	5,601,914	5,601,914	0	
会 費 収 入	23,998,000	23,915,000	83,000	
受 取 利 息	100	107	-7	
手数料他収入	150,000	198,700	-48,700	任意保険手数料他
合 計	29,750,014	29,715,721	34,293	

#### 支出の部

	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
通 信 費	300,000	274,653	25,347	
旅 費・交通費	450,000	254,910	195,090	
会 議 費	600,000	452,368	147,632	
事務費・用品費	150,000	132,134	17,866	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	60,000	40,000	
渉 外 費	950,000	756,500	193,500	チケット代 役員手当て
事務職員人件費	612,000	396,715	215,285	
<b>(総務関係合計)</b>	<b>3,162,000</b>	<b>2,327,280</b>	<b>834,720</b>	
芸大祭補助	2,700,000	2,700,000	0	
クラブ補助	5,522,135	5,422,285	99,850	
就職活動補助	3,073,162	3,029,696	43,466	
謝 恩 会 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	500,000	500,000	0	
国際交流補助	1,116,818	1,096,298	20,520	
公開講座補助	6,378,295	4,204,193	2,174,102	
施設・設備補助	628,315	148,092	480,223	
学費貸付金資金振替	2,000,000	2,000,000	0	
教員・役員研修費補助	800,000	566,585	233,415	
<b>(事業関係合計)</b>	<b>23,718,725</b>	<b>20,667,149</b>	<b>3,051,576</b>	
広 報 活 動	1,100,000	954,660	145,340	広報誌・封筒(大・小)
広報誌郵送料	800,000	505,785	294,215	通信費より移動
広報誌手数料	100,000	28,000	72,000	アルバイト代新設
<b>(広報関係合計)</b>	<b>2,000,000</b>	<b>1,488,445</b>	<b>511,555</b>	
予 備 費	869,289	172,000	697,289	パソコン一式購入
次年度繰越	0	5,060,847	-5,060,847	
総 合 計	29,750,014	29,715,721	34,293	

## 2. 特別会計決算書

### (1) 特別積立金会計

#### 収入の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
1	前年度繰越金	4,002,883	4,002,883	0	
2	雑収入	950	960	-10	
3	合計	4,003,833	4,003,843	-10	

#### 支出の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
4	特別積立金事業計画	0	0	0	
5	次年度繰越金	4,003,833	4,003,843	-10	
6	合計	4,003,833	4,003,843	-10	

### (2) 学費貸付金会計

#### 収入の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
7	前年度繰越金	2,993,539	2,993,539	0	
8	一般会計より資金繰入	2,000,000	2,000,000	0	
9	学生貸付金返済金	3,500,000	3,133,539	366,461	
10	雑収入	50	42	8	
11	合計	8,493,589	8,127,120	366,469	

#### 支出の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
12	学生貸付金	6,000,000	1,130,000	4,870,000	
13	予備費	2,493,589	0	2,493,589	
14	次年度繰越金	0	6,997,120	-6,997,120	
15	合計	8,493,589	8,127,120	366,469	

### (3) 福祉基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
16	前年度繰越金	994,838	994,838	0	
17	雑収入	8	8	0	
18	合計	994,846	994,846	0	

#### 支出の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
19	福祉基金事業計画	0	0	0	
20	次年度繰越金	994,838	994,846	-8	
21	合計	994,838	994,846	-8	

### (4) 学生生活基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
22	前年度繰越金	2,530,488	2,530,488	0	
23	雑収入	22	22	0	
24	合計	2,530,510	2,530,510	0	

#### 支出の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
25	講演会パンフレット作成	300,000	88,701	211,299	
26	次年度繰越金	2,230,510	2,441,809	-211,299	
27	合計	2,530,510	2,530,510	0	

## ■2006年度 名古屋芸術大学後援会 予算書

### 1. 一般会計

2006.4.1~2007.3.31 単位：円

#### 収入の部

	2006年度 予算額	2005年度 予算額	差 異	備 考
前年度繰越金	5,060,847	5,601,914	-541,067	
会 費 収 入	23,900,000	23,998,000	-98,000	
受 取 利 息	100	100	0	
手数料他収入	150,000	150,000	0	任意保険手数料他
合 計	29,110,947	29,750,014	-639,067	

#### 支出の部

	2006年度 予算額	2005年度 予算額	差 異	備 考
通 信 費	400,000	300,000	100,000	
旅 費・交通費	450,000	450,000	0	
会 議 費	650,000	600,000	50,000	
事務費・用品費	160,000	150,000	10,000	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	100,000	0	
渉 外 費	900,000	950,000	-50,000	チケット代 役員手当て
事務職員人件費	600,000	612,000	-12,000	
<b>(総務関係合計)</b>	<b>3,260,000</b>	<b>3,162,000</b>	<b>98,000</b>	
芸大祭補助	2,700,000	2,700,000	0	
クラブ補助	5,099,850	5,522,135	-422,285	前年度繰越金含む
就職活動補助	4,043,466	3,073,162	970,304	前年度繰越金含む
謝 恩 会 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	500,000	500,000	0	
国際交流補助	1,020,520	1,116,818	-96,298	前年度繰越金含む
公開講座補助	6,674,102	6,378,295	295,807	前年度繰越金含む
施設・設備補助	500,000	628,315	-128,315	前年度繰越金含む
学費貸付金資金振替	1,000,000	2,000,000	-1,000,000	
教員・役員研修費補助	800,000	800,000	0	研修費補助金
<b>(事業関係合計)</b>	<b>23,337,938</b>	<b>23,718,725</b>	<b>-380,787</b>	
広 報 活 動	1,200,000	1,100,000	100,000	広報誌・封筒(大・小) 表紙デザイン料
広報誌郵送料	600,000	800,000	-200,000	
広報誌手数料	50,000	100,000	-50,000	アルバイト代
<b>(広報関係合計)</b>	<b>1,850,000</b>	<b>2,000,000</b>	<b>-150,000</b>	
予 備 費	663,009	869,289	-206,280	
総 合 計	29,110,947	29,750,014	-639,067	

## 2. 特別会計予算書

### (1) 特別積立金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2006年度 予算	2005年度 予算	差 異	備 考
1	前年度繰越金	4,003,843	4,002,883	960	
2	雑 収 入	950	950	0	
3	合 計	4,004,793	4,003,833	960	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2006年度 予算	2005年度 予算	差 異	備 考
4	特別積立金事業計画	0	0	0	
5	次年度繰越金	4,004,793	4,003,833	960	
6	合 計	4,004,793	4,003,833	960	

### (2) 学費貸付金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2006年度 予算	2005年度 予算	差 異	備 考
7	前年度繰越金	6,697,120	2,993,539	3,703,581	
8	一般会計より資金繰入	1,000,000	2,000,000	-1,000,000	
9	学生貸付金返済金	3,500,000	3,500,000	0	
10	雑 収 入	40	50	-10	
11	合 計	11,197,160	8,493,589	2,703,571	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2006年度 予算	2005年度 予算	差 異	備 考
12	学 生 貸 付 金	6,000,000	6,000,000	0	
13	予 備 費	5,197,160	2,493,589	2,703,571	
14	合 計	11,197,160	8,493,589	2,703,571	

### (3) 福祉基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2006年度 予算	2005年度 予算	差 異	備 考
15	前年度繰越金	994,846	994,838	8	
16	雑 収 入	8	8	0	
17	合 計	994,854	994,846	8	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2006年度 予算	2005年度 予算	差 異	備 考
18	福祉基金事業計画	0	0	0	
19	次年度繰越金	994,854	994,846	8	
20	合 計	994,854	994,846	8	

### (4) 学生生活基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2006年度 予算	2005年度 予算	差 異	備 考
21	前年度繰越金	2,441,809	2,530,488	-88,679	
22	雑 収 入	22	22	0	
23	合 計	2,441,831	2,530,510	-88,679	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2006年度 予算	2005年度 予算	差 異	備 考
24	講演会パンフレット作成	300,000	300,000	0	
25	次年度繰越金	2,141,831	2,230,510	-88,679	
26	合 計	2,441,831	2,530,510	-88,679	



# 後援会報表紙デザイン公募結果発表

広報委員長 柘植久美子

後援会会報誌の表紙デザインを新しくするという事で、学生の皆さんのデザイン発表の場として、公募を行いました。5月連休明けまで募集した結果、6点のデザインの応募がありました。5月14日後援会定期総会において出席者全員で投票していただき、その結果を参考にしながら、7月8日役員・委員会で最終的に決定しました。トップと2位との差は、ごくわずかでしたが、次点となった方には、これをチャンスとして、これからのステップにしてもらいたいと思います。

1人で何点も出品してくれた学生さんもいて、活力あふれる作品、静かな息吹を感じる物、川の流れを思わせる物、細やかな神経の通った作品、それぞれの作品に創意工夫が感じられ、選んでいる者にも作者の熱意が伝わってきました。表彰式は、11月3日(金)大学祭期間中に開催予定の後援会全体会で行う予定です。

これから3年間、6色で華やかに後援会報表紙に登場します。皆様、どうぞご期待下さい。受賞者のみなさんは、以下のとおりです。

賞	賞金	学 科	氏 名 (敬称略)
大賞	5万円	デザイン学科ビジュアルデザイン選択コース3年	武藤 理恵子
2位	2万円	デザイン学科イラストレーション選択コース2年	佐々木絵里子
3位	1万円	デザイン学科ビジュアルデザイン選択コース3年	長 塚 祐



▲熱心に検討しました

## 表紙コンセプト

名古屋芸術大学は、いろいろな個性を持った人たちが集まっています。いろいろな形の円はそれぞれの個性を表していて、「いろいろな人と出会ってお互いに刺激し合い、成長していける学校」というのをアピールしたくてこのデザインにしました。

武藤 理恵子

# 名古屋芸術大学近況報告

## 名古屋芸術大学に第四の学部として 「人間発達学部子ども発達学科」が設立されます

学部長予定者（短大部保育科長） 太田 悦生

名古屋芸術大学短大部保育科は、2001年（平成13年）に名古屋自由学院短期大学保育科から名称変更されましたが、設立以来、7,526人もの有為な卒業生を送り出してまいりました。しかし、時代の変化と共に幼稚園・保育所などの保護者のニーズも多様化し、保育者（教育者）に求められる資質・能力も、これに対応する必要にせまられています。そこで、この度「人間発達学部子ども発達学科」（仮称）を設立すべく文部科学省に申請書を提出しました（新学部が認可されますと短期大学部は廃止の予定です）。申請中の新学部の概要を紹介いたします。

### どのような教育・研究する学部か

「人間発達学部子ども発達学科」は、子ども（乳幼児期から児童期）の種々の面を対象とした教育・研究を目的とする学部で、中心的な学問分野は、子どもの教育目標や教育方法を追求する教育学（保育学）、子どもの心理を追求する心理学、子どもの幸せを追求する福祉学及び子どもに伝達すべき文化にかかわる諸学問です。こうした領域の学問を通じて、「子どもが精神的に安定した成長・発達を遂げるための限りない愛情を注ぐことのできる保育者（保育者）を養成する」ことを目的とする学部です。

### 教育課程の特色

専門科目は教育職員免許法などに規制されるので、次のような教育活動で学部の特色をだそうと計画しています。

#### <ゼミナールの開設>

このゼミナールは、1年後期から卒業まで履修して、

「オンリーワンのスキルを持つ（これだけは自信が持てる）」という得意分野を修得した教育者（保育者）の養成を目指しています。ゼミナールの内容は、次のようになります。

- ① 子ども教育ゼミナール
- ② 子どもの発達心理と教育相談ゼミナール
- ③ 子ども福祉ゼミナール
- ④ 子ども音楽・表現ゼミナール
- ⑤ 子ども芸術・造形ゼミナール
- ⑥ 子ども体育ゼミナール

その他専任教員による学生生活などの個別相談を設定し、きめ細かな教育・研究の実施の展開を考えています。

### どのような免許・資格が取得できるか

学位は、学士（教育学）で、所定の単位を修得することで、小学校教諭1種免許状及び幼稚園教諭1種免許状を取得でき、また保育士資格も取得できます。

### こんな学生に入学してほしい

保育者（保育者）となれば、元気な子どもたちが毎日の相手なので「子どもが好き」であり、「元気があり」、「協調性があり」、「学ぶ意欲があり」、「可能性を信じている」のような学生が入学してほしいものだと思っています。

### 入学試験の日程

設置認可が11月下旬とのことで、入学試験は1月以降に実施の予定です。



### 入試日程予定 人間発達学部 子ども発達学科（仮称）

区分	定員	願書受付期間	試験日	合格発表
一般推薦 （専願・併願）	70名	12/27(水)～1/15(月)	1/19(金)	1/23(火)
社会人		12/27(水)～1/15(月)	1/19(金)	1/23(火)
一般 A日程	40名	1/12(金)～1/30(火)	2/3(土)	2/10(土)
			2/4(日)	
B日程	20名	2/19(月)～2/28(水)	3/3(土)	3/7(水)
C日程	10名	3/8(木)～3/19(月)	3/24(土)	3/25(日)
合計	140名			

※ 詳細については、本学広報入試課までお尋ねください。

## 音楽学部の近況報告

### 【演奏学科】

演奏学科はスタートしてまだ2年ですが、今回は卒業生の活躍の様子を紹介いたします。

ピアノでは藤島沙里さん（現在大学院1年）が2005年10月に行われた大阪国際ピアノコンクールで1位なしの3位に入賞しました。予選でショパンのエチュード、バラード等を本選では三善晃のソナタを弾いての入賞です。これはその前年の牧村沙保さん（大学院修了、現在契約助手）の3位に続く快挙といえます。

声楽では笛田博昭さん（大学院修了）が、2007年1月渋谷オーチャードホールでの藤原歌劇団公演で、ブッチェニの「ボエム」の主演ロドルフォ役を射止めました。藤原歌劇団の本公演で主役を歌うのはまさに画期的な事です。留学中の中井亮一さん（大学院修了）も、ミラノにてロッシーニの「婚約手形」の主演をオーディションにより選ばれて歌うことになっています。また、毎年3月に行われている本学オペラ公演は、今回姉妹校提携をしたばかりのフェラーラコンセルヴァトリーオ（国立音楽院）から数名の学生を招いて合同で「カルメン」を上演する予定です。

また、ウィンドオーケストラは2002年ベルギーでの招待演奏に続き、2007年7月に国際吹奏楽アンサンブル協会の招きにより、日本を代表してアイルランドでの演奏を行います。

このように次々と学生が広い世界を目指し、大きな舞台に挑戦して行って欲しいと考えています。

### 【音楽文化創造学科】

音楽文化創造学科では、それぞれのコースが学生のスキル向上と、これからの音楽文化を担う意味で、活発に活動を行っており、以下に、主な活動状況をお知らせします。

◎昨年の12月21日に、しらかわホールにて今回で3回目になる音楽企画「ルネッサンス21」を、セントラル愛知交響楽団とのコラボレーションにより開催しました。本企画は映像と音楽の有機的結合を目指したものであり、このコンサートのために、オリジナル曲の作曲（サウンドメディア選択コース）、観客参加の演出（音楽療法選択コース）、さらにこのコンサートの企画運営（音

楽ビジネス・ステージマネジメント選択コース）を学生、教員が一丸となって行い、演奏会当日は満席の盛況でした。第4回目となる本年度も12月21日に、しらかわホールで新たな企画によるコンサートを予定しています。

◎昨年度3月に行われた企画「カレードスコープ」は、映像とサウンドの有機的結合を目指し、サウンドメディア選択コース、音楽療法選択コースとデザイン学部学生のコラボレーションにより、実験的な作品によるイベントを、大須の「チェザリ」で開催しました。本年度も継続すべく2月の実施にむけて企画しているところです。

◎ミュージカル選択コースでは、斬新な本学独自のオリジナルミュージカルを制作し、昨年8月には岐阜県高山市で公演を実施し、好評を博しました。さらに卒業公演では名古屋市のアートピア・ホールで2日間にわたって公演を実施し、連日満席の盛況でした。

本年度は、韓国テグでの海外公演も予定しており、さらに卒業公演もオリジナル作品による公演を実施することになっています。

◎音楽療法選択コースは、授業の一貫として、各種施設で本コース独自の音楽療法を実施し、その活動が社会から注目を浴びています。

◎音楽教育選択コースでは、昨年度に引き続き、今年度も文部科学省の助成を受けるべく申請を予定している、全国的な学校教育現場への演奏旅行をはじめ、昨年には愛知万博に参加し、今年の8月4・5日にはボストン美術館で子供たちと日本伝統音楽体験教室を開催する等、幅広く社会に密着した音楽活動を行っています。

◎音楽ビジネス・ステージマネジメント選択コースでは音楽情報紙「oto-ari」を定期的に発刊し、さらに本学NUAレーヴェルで、有能な新人発掘を目指し、CDを企画制作しました。

◎サウンドメディア選択コースでは、本年度ボストン美術館で展示されている浮世絵66枚すべてに、オリジナル楽曲を制作提供しました。

◎ジャズポップス選択コースでは、9号館にセッションルームを新設し、学生が日々練習に励んでおり、また、定期的に2号館ロビーでライブを開催しています。



## 名古屋芸術大学近況報告

## 美術学部の近況報告

## 【絵画科日本画コース】

フランス・ブルゴーニュ地方シャロン＝シュル＝ソーヌにあるサン＝ヴァンサン聖堂には「聖母の御眠り」というすばらしいフレスコ壁画があります。これは日本画コースに名誉教授として毎年フレスコ制作を指導していただいている高橋久雄先生の修復により蘇った作品です。このたび、その壁画模写のチャンスが訪れました。偶然か否か白井久義教授は現在フランス留学中。資料収集も可能であり、フレスコに関わる有能な卒業生も年々育ってきています。約2m×3mの美しく緻密なこの壁画が教会という聖なる空間で模写されていきます。15世紀にまさにこの場所で描かれた壁画からは作家の精神、息づかいまでも感じられるでしょう。その空気も含めて作品として持ち帰ることができるよう日本画コースではただ今準備中です。

## 【絵画科洋画コース】

雨降りしきる5月、特別客員教授として画家木下晋氏を迎えた。木下氏は畳1枚ほどの大きさの紙に鉛筆で、人物を鬘や髪の本1本1本に至るまで克明に描く作家である。5月17日B棟大講義室において「ペンシルワークによる表現の考察」というテーマで特別講義を開催、その後1週間に亘る2・3年対象の鉛筆画の実習には、定員を大幅に超える40人以上の参加者がありました。木下氏の御厚意により、同一時期にZ棟1階ギャラリーにて「木下晋展」を開催することが出来ました。1枚に1ヶ月かけて描かれた大作が7点並んだ様は壮観であり、教育効果を考える上でも大きな出来事でした。9B～9Hまでの20色の鉛筆を使用した指導は新鮮であり、学生たちは、身近な鉛筆の深く知られざる世界を垣間見ることができました。その後の平素の実技においてもいたる所で氏の影響が見られます。開花結実の末は知らぬが、確かに1粒の種は蒔かれました。

## 【美術文化学科】

例年にも増して元気のいい新入生が加わり、学科はパワーアップしています。1年生は7月15日のオープンキャンパスの「アートカフェ」にも積極的に関わってくれました。前田先生の「アート・エデュケーション」「地域文化研究」の成果発表としてのワークショップが7月下旬から8月上旬にかけて名古屋市美術館と豊橋市で2年生を中心に行われました。また後期には、芸術環境創造選択コースの3～4年の専門演習の成果発表としてG棟ワーキングルームにおいて洋画コースの吉本先生、版画選択コースの西村先生のご協力によりお二人の小展

覧会が開催される予定です。ご期待下さい。芸術学選択コースの学生は各自の専門対象についての研究発表を順次行っています。研究対象はエジプトをはじめ、インド、ルネサンス、世紀末、シュルレアリスム、洋画、日本画に加え、戦後の横尾忠則、デュビュッフェまでと多彩で教員は嬉しい悲鳴を上げています。4年生は就職活動にも懸命ですが、学科の専門を生かせる第一志望の会社内に定した学生も出ています。4年生の皆さんには、就職活動とも並行しつつも、納得のいく卒業論文の作成にあと数ヶ月邁進していただきたいと思います。



## 【造形科】

ドイツ・ブレーメン芸術大学との合同プロジェクトは造形科が窓口になり、ドイツ年の昨年は日本・名古屋で行われ、今年はドイツで行われます。合同展覧会などプロジェクト報告は、次号で詳しく報告させていただきます。



## デザイン学部の近況報告

4月より、「デザインと文化1」では、本学名誉教授の楠原義一氏はじめ、様々なデザインジャンルより6回6名の講師を招き講座を展開しました。

また、「広告表現論」では、黒沢明映画のスクリーンライターでマネジャーの野上照代氏、パッケージデザイナーの秋月繁氏、アートディレクターの浅葉克己氏等、デザインの現場の第一線クリエイターの特別講義と学生との交流会を実施しました。その他にも、各ブロック、コースごとに展覧会見学や現場実習等、学内外で活発に教育活動が進んでいます。

この後、今年度は、特別客員教授として、ジェームズ・ダイソン氏と、ジョージ・ハーディ氏を迎えます。

ジェームズ・ダイソン (James Dyson) 氏は、「ダイソンクリーナー」で有名な英国生まれのインダストリアルデザイナーです。10月に、栄ナディアパーク「アートピア」で講演と展示会が予定されています。



ジョージ・ハーディ (George Hardie) 氏は、1970年代のピンク・フロイドやレッド・ツェッペリンのレコードジャケットのデザインで有名なグラフィックデザイナー、イラストレーターです。現在、本学姉妹校の一つ英国ブライトン大学の教

授でもあります。やはり10月に、学内で公開レクチャーとワークショップが予定されています。後期10月は、デザイン特別月間となります。詳細は広報よりお知らせする予定です。



## 大学基準協会の認証評価に合格しました

本学は2006年4月に、認証評価機関である大学基準協会の大学基準に適合と認定され、正会員になりました。認定期間は、2006年4月から2011年3月までです。これによって、法令化されている「第三者による認証評価」にも合格したことになります。



## 「名古屋芸大グループ通信」が創刊

「名古屋芸大グループ通信」の創刊号が7月1日に発行されました。この広報誌は、名古屋芸術大学を中心として短期大学部（2007年4月に人間発達学部子ども発達学科へ設置申請中）、保育・福祉専門学校、2つの幼稚園からなる学校法人名古屋自由学院グループ各校の教育活動を、社会に広く情報発信することを目的として創刊されたものです。本学のホームページにも掲載されていますが、後援会の皆様でご希望の方は、西キャンパス芸術文化交流室までご連絡ください。

電話 0568-24-0325 (代)



## 2006年度 東キャンパス 年間行事予定表【音楽学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	3	月	2年～4年オリエンテーション/健康診断
	4	火	
	5	水	新入生オリエンテーション
	6	木	新入生健康診断
	7	金	春季休業終了
	8	土	▼入学式 11:00～
	10	月	実技オリエンテーション期間(4/10～13)
	13	木	▼前期授業開始
	15	土	新入生歓迎会 午後～
	20	木	履修登録票提出締切 16時
26	水	履修確認票配付	
29	土	*みどりの日(祝日)	
5月	1	月	*開学記念日(休業日)
	2	火	*臨時休業
	3	水	*憲法記念日(祝日)
	4	木	*国民の休日(祝日)
	5	金	*こどもの日(祝日)
	10	水	履修登録訂正締切 16時
	29	月	教育実習集中期間(5/29～6/17)
	31	土	オープンキャンパス
7月	12	水	前期授業終了
	13	木	前期実技試験期間(7/13～18)
	17	月	*海の日(祝日)
	18	火	▼
	19	水	前期補講期間(7/19～24)
	22	土	夏期音楽講習会(7/22～25)
	24	月	▼
	25	火	▼
	26	水	▼
	31	月	前期学科試験期間(7/26～31)
	8月	1	火
2		水	前期集中講義期間
11		金	▼
12		土	▼
15		火	夏季一斉休業
16		水	成績伝票締切
23		水	前期可否発表 13時
9月		5	火
	8	金	
	12	火	追再試験成績伝票締切
	14	木	追再試験可否発表 13時
	17	日	AO入試(受験診断)
	18	月	*敬老の日(祝日)
	20	水	夏季休業終了

月	日	曜日	後期行事予定
9月	21	木	後期授業開始
	23	土	*秋分の日(祝日)
	25	月	履修登録票提出締切 16時
	28	木	履修確認票配付
	30	土	オープンキャンパス
10月	5	木	履修確認訂正締切 16時
	8	日	AO入試
	9	月	*体育の日(祝日)
	31	火	芸大祭準備日
11月	1	水	芸大祭
	3	金	▼*文化の日(祝日)
	4	土	芸大祭後片付け日・授業日
	11	土	推薦入試
	12	日	推薦入試
	22	水	*学院創立記念日(休業日)
12月	23	木	*勤労感謝の日(祝日)
	2	土	大学院A日程入試
	20	水	後期授業終了
	21	木	後期補講集中講義期間(12/21～27)
	23	土	冬季休業開始
	24	日	*天皇誕生日(祝日)
	24	日	冬期音楽講習会(12/24～27)
	28	木	▼
	29	金	冬季一斉休業開始
	1月	1	月
3		水	冬季一斉休業終了
4		木	後期補講集中講義期間(1/4～5)
7		日	▼冬季休業終了
8		月	*成人の日(祝日)
9		火	後期授業再開
15		月	後期授業終了
16		火	後期実技試験期間
22		月	後期実技試験期間
23		火	後期実技試験期間
2月	29	月	後期学科試験期間
	29	月	後期学科試験期間
	30	火	後期学科試験予備日
	2	金	成績伝票締切
	5	月	A日程・特待生・三年編入生入試
	6	火	A日程・特待生・三年編入生入試
	8	木	後期・通年可否発表 13時
	11	日	*建国記念日(祝日)
	12	月	*振替休日
	13	火	後期追再試験期間
3月	16	金	後期追再試験期間
	19	月	追再試成績伝票締切 研究生入試(予定)
	22	木	追再試験可否発表 13時
	28	水	卒業判定
	7	水	進級判定
	21	水	*春分の日(祝日)
	22	木	2006年度 卒業式
	23	金	春季休業開始
	25	日	音楽学部・大学院B日程入試

## 2006年度 西キャンパス 年間行事予定表【美術学部・デザイン学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	3	月	↓ 2~4年生オリエンテーション
	4	火	
	5	水	
	6	木	
	7	金	新入生オリエンテーション
	8	土	入学式
	10	月	オリエンテーション
	11	火	健康診断
	12	水	履修登録締切 16:00 健康診断
	13	木	前期授業開始
	15	土	新入生歓迎会(午後)
	18	火	} 前期履修確認変更修正期間 最終日締切 13:00
	19	水	
20	木		
29	土	休日 みどりの日	
30	日	休日	
5月	1	月	休日 開学記念日
	2	火	休日 臨時休業
	3	水	休日 憲法記念日
	4	木	休日 国民の休日
	5	金	休日 こどもの日
6月	17	土	オープンキャンパス体験編 通常授業日
7月	12	水	前期授業終了
	13	木	} 前期補講・集中講義期間
	14	金	
	15	土	
	16	日	
	17	月	休日 海の日
	18	火	} 前期補講・集中講義期間
	19	水	
	20	木	
	25	火	} 前期補講・集中講義期間
	26	水	
27	木		
29	土	} 前期学科試験期間開始	
31	月		
8月	1	火	学科試験予備日・夏季休業開始
	2	水	} 前期補講・集中講義期間
	3	木	
	4	金	
	7	月	} 前期補講・集中講義期間
	8	火	
	11	金	
	16	水	成績伝票提出締切(教員)
22	火	AO入試(美術文化・ライフスタイル)	
23	水	13時より前期試験成績発表	
9月	5	火	} 前期追再試験期間
	6	水	
	7	木	
	12	火	追再試成績伝票提出締切(教員)
	14	木	13時より前期追再試験成績発表
	17	日	オープンキャンパス進学編 Part I
	18	月	休日 敬老の日
20	水	夏季休業終了	

月	日	曜日	後期行事予定	
9月	21	木	後期授業開始 後期履修登録票配付	
	23	土	休日 秋分の日	
	27	水	} 後期履修変更修正期間 最終日締切 13:00	
	28	木		
29	金			
10月	1	日	指定校推薦入試(造形・美術文化)	
	9	月	休日 体育の日	
	14	土	オープンキャンパス進学編 Part II 通常授業日	
	31	火	芸大祭準備日(全日休講)	
	11月	1	水	} 芸大祭
2	木			
3	金			
	4	土	芸大祭後片付日(全日休講)	
	5	日	推薦入試・社会人入試	
	22	水	休日 学院創立記念日	
	23	木	休日 勤労感謝の日	
	26	日	地域(広島)入試	
12月	3	日	大学院Ⅰ期入試	
	20	水	後期授業終了	
	21	木	後期補講・集中講義期間 冬季休業開始	
	22	金	↓	
	23	土	休日 天皇誕生日	
	25	月	} 後期補講・集中講義期間	
	28	木		
	29	金		
	31	日		
	1月	1	月	} 元旦 冬季一斉休業期間 (12/29~1/3)
		3	水	
4		木	後期補講・集中講義期間	
5		金	↓	
7		日	冬季休業終了	
8		月	休日 成人の日	
9		火	後期授業再開	
15		月	後期授業終了	
16		火	後期補講・集中講義期間(1/16~22)	
22		月	後期学科試験期間(1/23~29)	
23	火			
29	月			
30	火	学科試験予備日		
2月	2	金	成績伝票提出締切(教員)	
	4	日	A日程入試	
	5	月	↓	
	8	木	13時より後期学科試験成績発表	
	11	日	休日 建国記念日	
	12	月	*振替休日	
	13	火	} 後期追再試験期間	
	16	金		
19	月	追再試成績伝票提出締切(教員) 大学院Ⅱ期入試		
22	木	13時より後期追再試験成績発表		
23	金	研究生・研修生・3年編入・転科転コース入試		
28	水	地域入試(東京)・卒業判定会議		
3月	7	水	進級判定会議	
	16	金	B日程入試(~17日(土))	
	21	水	春分の日	
	22	木	卒業式	
	23	金	春季休業開始	

## 2005年度学生による授業評価アンケート調査結果の概要について

2006年3月31日

自己点検評価委員会 委員長 竹本 義明

### はじめに

昨年度に引き続き、2005年度の学生による授業評価アンケート調査を実施しました。調査結果を経年的に評価するために、昨年度と同一項目でアンケート調査を実施しました。その調査結果の概要を報告いたします。

実施に当たり、多大なご協力を賜った教職員、そして本学の学生に心より感謝の意を表します。

### 方法

本調査は2005年度前期ならびに後期に開講されている全授業に受講した学生を対象として、前期は2005年7月4日(月)～7月9日(土)、後期は2005年12月1日(木)～12月7日(水)の期間に、昨年と同じアンケート項目(9項目)で調査を行いました。その項目は以下のとおりでした。

- 設問1 「既学習感・達成度」学生自身の学び(修得)感の度合い
- 設問2 「授業構造」授業の組み立て
- 設問3 「授業内容」授業の内容の分かりやすさ
- 設問4 「授業内容」授業の内容とシラバスの一致度
- 設問5 「授業内容」授業の持つ意味(重要性)の理解
- 設問6 「授業運営・教員」授業に対する担当教員の取り組み方
- 設問7 「学生自身の授業の取り組み方」学生自身の授業での学ぶ努力
- 設問8 「総合評価」後輩へ推薦できる授業
- 設問9 「総合評価」授業全般に対する総合評価

本調査の質問票は学生が気軽にかつ率直に回答できるように無記名とし、設問に対して思う(感ずる)度合いをマークシート方式により5段階評価で回答するように作成しました。授業内での実施を前提とし、学生や教員あるいは授業への影響に配慮し質問文は簡素化しました。

本調査結果は、直ちに設問ごとに集計し、①カリキュ

ラム課程別(講義、実技、実習、演習)、②授業形態別(専門、教養、教職・学芸員課程)にクロス集計を行い、それらに基づいて授業評価平均値を算出しました。

### 結果と考察

音楽学部の回収結果は、前期においてはアンケート回収総数6292件、回収率は56.3%、後期においてはアンケート回収総数4486件、回収率47.5%でした。また美術学部・デザイン学部の回収結果は、前期においてはアンケート回収総数6244件、回収率39.7%、後期においてはアンケート回収総数4476件、回収率30.9%でした。

なお、音楽学部の前期および後期の授業科目数ならびに回答数は表1と2に、美術学部・デザイン学部のものは表3と4にそれぞれ示したとおりでした。

本年度のアンケート調査より得られた授業の評価平均値は、音楽学部で前期3.83～4.25、後期3.99～4.28、美術学部・デザイン学部で前期3.61～4.06、後期3.69～4.10でした。各学期で開講された科目とその数が異なることや、それぞれの平均値には各設問の回答にはある程度のばらつきが含まれており、前期と後期の間を単純に比較することはできません。しかし、2004年度後期からの傾向として、全学部とも評価が低下している可能性がうかがわれました。これは2004年度において学生が授業評価アンケートの回答経験がなかったこと、プライバシー確保にまだ信頼がなかったことなどの理由から評価が高くなっていたことも考えられますが、しかし低下傾向の可能性を真摯に受け止め、教員それぞれが授業改善を検討する必要があると考えられます。またそれをより効果的に進められるように、本学は調査結果の明確な公表、プライバシーの確保の徹底を行うとともに教育能力改善、いわゆるFD(Faculty Development)を真剣に取り組んでいくことが極めて重要であると考えられます。

表1. 2005年度前期の授業評価アンケート調査より得られた授業科目数ならびに回答者数(音楽学部)

		全 体			専 門 科 目			教 養 科 目			教 職 ・ 学 芸 員 科 目			
		全 体	講 義	演 習	実 習	実 技	総 数	平 均	標 準 偏 差	総 数	平 均	標 準 偏 差	総 数	平 均
教 員 別 授 業 科 目 数	全 体	354			276			52			26			
	講 義	99			46			27			26			
	演 習	57			32			25			0			
	実 習	165			165			0			0			
	実 技	33			33			0			0			
回 答 数	全 体	6192	21.1	20.5	4019	18.0	18.5	1482	31.5	25.0	691	28.8	19.5	
	講 義	2707	31.9	27.3	856	24.5	30.1	1160	44.6	24.7	691	28.8	19.5	
	演 習	613	13.6	11.2	291	12.1	9.2	322	15.3	13.0	0	-	-	
	実 習	2167	16.3	13.7	2167	16.3	13.7	0	-	-	0	-	-	
	実 技	705	22.7	21.3	705	22.7	21.3	0	-	-	0	-	-	



表2. 2005年度後期の授業評価アンケート調査より得られた授業科目数ならびに回答者数（音楽学部）

教員別授業科目数		全 体			専 門 科 目			教 養 科 目			教 職 ・ 学 芸 員 科 目		
		全 体	講 義	演 習	実 習	実 技	総 数	平 均	標 準 偏 差	総 数	平 均	標 準 偏 差	総 数
回 答 数	全 体	4860	16.3	14.8	3277	13.9	13.1	1118	26.0	18.9	465	22.1	12.9
	講 義	1793	24.6	17.6	461	17.1	14.1	883	34.0	19.4	449	22.5	13.2
	演 習	413	14.8	9.1	162	16.2	9.3	235	13.8	9.1	16	16.0	0.0
	実 習	1997	12	10.9	1997	12	10.9	0	-	-	0	-	-
	実 技	657	20.5	19.3	657	20.5	19.3	0	-	-	0	-	-

表3. 2005年度前期の授業評価アンケート調査より得られた授業科目数ならびに回答者数（美術学部・デザイン学部）

教員別授業科目数		全 体			専 門 科 目			教 養 科 目			教 職 ・ 学 芸 員 科 目		
		全 体	講 義	演 習	実 習	実 技	総 数	平 均	標 準 偏 差	総 数	平 均	標 準 偏 差	総 数
回 答 数	全 体	6244	28.0	27.7	3363	21.3	23.1	2082	40.8	31.7	799	57.1	23.2
	講 義	3918	45.6	34.0	1548	36.0	35.1	1571	54.2	32.6	799	57.1	23.2
	演 習	976	17.8	16.6	465	14.1	13.3	511	23.2	19.4	0	-	-
	実 習	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
	実 技	1350	16.5	12.6	1350	16.5	12.6	0	-	-	0	-	-

表4. 2005年度後期の授業評価アンケート調査より得られた授業科目数ならびに回答者数（美術学部・デザイン学部）

教員別授業科目数		全 体			専 門 科 目			教 養 科 目			教 職 ・ 学 芸 員 科 目		
		全 体	講 義	演 習	実 習	実 技	総 数	平 均	標 準 偏 差	総 数	平 均	標 準 偏 差	総 数
回 答 数	全 体	4476	17.6	18.8	2323	12.6	14.4	1560	30.6	23.9	593	31.2	16.5
	講 義	2624	33.6	25.0	924	27.2	25.6	1176	43.6	25.3	524	30.8	17.2
	演 習	831	13.9	9.5	378	11.1	7.2	384	16.0	9.8	69	34.5	7.5
	実 習	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
	実 技	1021	8.8	6.8	1021	8.8	6.8	0	-	-	0	-	-

図1. 2005年度授業評価アンケートより得られた評価平均一覧（音楽学部）

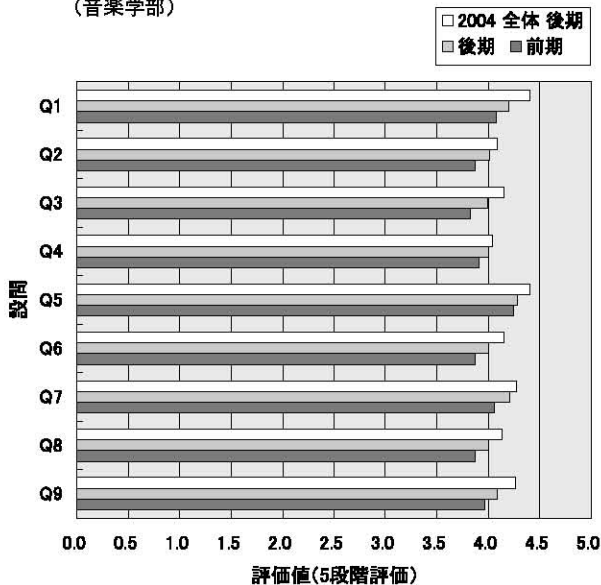
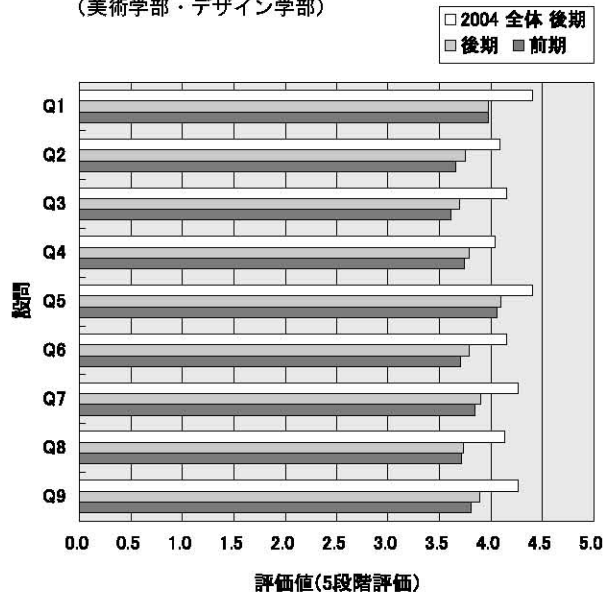


図2. 2005年度授業評価アンケートより得られた評価平均一覧（美術学部・デザイン学部）



## 就 職 セ ミ ナ ー の 紹 介



学生一人ひとりの将来の夢や希望を尊重し、教員と連携をとりながら全員が希望通りの就職・進学ができるように支援を行っています。

また、社会情勢にあわせた就職活動の基本的な事項の周知と意識を高めることを目的とし、きめ細やかな就職支援についての対策を両大学の委員会とともに検討し実施しています。気軽に利用してください。

※就職課では学年にかかわらず将来の進路について相談をすることができます。

### 2006年度 西キャンパス 就職ガイダンス等実施計画

月	日	内 容
4月	3・4	就職活動オリエンテーション(3・4年生)
5月	18	教員採用試験に関するオリエンテーション
	26	インターンシップに関するオリエンテーション
6月	15	3年生対象就職ガイダンス(就職の流れ・進路調査①)
	16	就職支援・資格取得講座事前説明会
	21	3年生対象就職ガイダンス(就職の流れ・進路調査②)
7月	6	アートとデザインの生き方セミナー「アーティストと職人」(全学年対象)
	11・12	3年生対象就職ガイダンス(就職適性・自己分析テストの実施)
	11・12	2年生対象 就職適性・自己分析テストの実施(希望者)
	13	インターンシップ事前研修(ビジネスマナー研修)(対象:インターンシップ参加者)
8月	1～ ～20	各種就職支援講座・資格取得講座の実施 インターンシップの実施
9月	28	3年生対象就職ガイダンス(インターネットでの情報収集・就職ナビの活用)
	29	3年生対象就職ガイダンス(就職適性・自己分析結果の解説)
10月	上	インターンシップ事後研修(対象:インターンシップ参加者)
	5	3年生対象就職ガイダンス(エントリーシートの書き方・就職活動におけるマナー・ルール)
	12	3年生対象クリエイティブ系就職ガイダンス(クリエイティブを活かして働く)
	19・20	3年生対象就職ガイダンス(エントリーシート攻略テスト)
11月	9	3年生対象就職ガイダンス(面接試験対策)
	16 30	3年生対象就職ガイダンス(SPI適性試験・厚生労働省編一般職業適性試験対策)
12月	7	アートとデザインの生き方セミナー「決して諦めないこと」(全学年対象)
	14・15	3年生対象就職ガイダンス(就職模擬試験)
1月	29～	各種就職支援講座・資格取得講座の実施
3月	～31	

※ 予定は変更になる場合があります。

※ 各種就職支援講座・資格取得講座は上表日程以外でも実施予定の講座があります。

## 2006年度 東キャンパス 就職・進学対策行事予定表

## 音楽学部3年生および短大部1年生

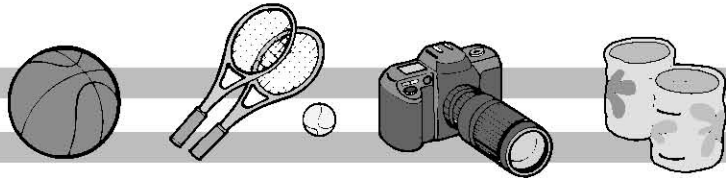
月	日	曜	限	教室	講座内容	対象
4	27	木	4	11-101	カワイ音楽講師採用・グレード試験学内説明会	音楽学部・音楽科(全学年)
	18	木	4	1-702	教員採用試験説明会	音楽学部3・4年・短音1・2年
5	25	木	4	2-中アン	ヤマハグレード試験学内説明会	音楽学部・音楽科(全学年)
	後日指定				就職ガイダンス(音楽関係企業対策 音楽講師を除く)	音楽学部3・4年・短音1・2年
6	1	木	4	1-702	第1回就職ガイダンス(卒業後の進路について)	音楽学部3年・短音1年
	8	木	4	1-701	キャリアガイダンス～社会で活躍するために～	音楽学部3・4年・短音1・2年
	29	木	4・5	1-405 他	キャリアガイダンス～グループディスカッション講座～	音楽学部3・4年短音1・2年
7	5	水	5	1-702 1-405	就職模擬試験 No.1(一般常識①) ※いずれか1日	保育科 音楽学部3年・短音1年
	7	金	5	1-702 1-405	就職模擬試験 No.1(一般常識①) ※いずれか1日	保育科 音楽学部3年・短音1年
	13	木	4	1-702	第1回就職ガイダンス(卒業後の進路について)	保育科
9	28	木	4	1-702 1-405	自己分析(CAREER APPROACH) ※いずれか1日	保育科 音楽学部3年・短音1年
	29	金	5	1-702 1-405	自己分析(CAREER APPROACH) ※いずれか1日	保育科 音楽学部3年・短音1年
10	5	木	4	1-702	公務員採用試験説明会(保育職)	短保1年
	12	木	4	1-702	公務員採用試験説明会(事務職・警察官・消防士・日本郵政公社)	音楽学部3年・短大1年
	19	木	4	1-702	キャリアガイダンス～業界・職業研究～	音楽学部3・4年・短音1・2年
	25	水	5	1-702 1-405	就職模擬試験 No.2(一般常識②) ※いずれか1日	保育科 音楽学部3年・短音1年
	26	木	5	1-702	第3回就職ガイダンス(マナー講座/電話&訪問)	音楽学部3年・短大1年
	27	金	5	1-702 1-405	就職模擬試験 No.2(一般常識②) ※いずれか1日	保育科 音楽学部3年・短音1年
11	9	木	5	1-702	自己分析の解説(保育科)	保育科
	15	水	5	1-405	学内就職模擬試験 No.3(SPI試験) ※いずれか1日	音楽学部3年・短大1年
	16	木	4	1-702	第4回就職ガイダンス(作文対策講座②)	音楽学部3年・短大1年
	17	金	5	1-405	自己分析の解説(音楽学部・音楽科)	音楽学部3年・短音1年
	30	木	4	1-702	学内就職模擬試験 No.3(SPI試験) ※いずれか1日	音楽学部3年・短大1年
	7	木	5	1-702	第5回就職ガイダンス(履歴書・エントリーシートの書き方)	保育科
	14	木	4	1-702	第6回就職ガイダンス(履歴書・エントリーシートの書き方)	音楽学部3年・短音1年
12	7	木	5	1-702	第7回就職ガイダンス(手紙の書き方講座)	音楽学部3年・短大1年
	14	木	4	1-702	第8回就職ガイダンス(作文対策講座③)	音楽学部3年・短大1年
	11	木	5	1-702	第9回就職ガイダンス(面接対策講座)	音楽学部3年・短大1年
1	後日指定				第10回就職ガイダンス(春休みの就職活動)	音楽学部3年・短大1年
	後日指定				第11回就職ガイダンス(合格者による体験発表)	短保1年
2	後日指定			自宅	学内就職模擬試験 No.4(第1回教員採用試験模擬試験)	音楽学部3・4年・短音1・2年
	後日指定			1-702	第12回就職ガイダンス(春休みの就職活動)	保育科 愛知県外学生

## 音楽学部4年・短大部2年生

月	日	曜	限	教室	講座内容	対象
4	4	火	16:30まで	就職課	求人票発送依頼書提出(愛知県外 私立園希望者)	保育科
	5	水	15:30	1-401	名古屋芸術大学音楽学部編入学説明会オリエンテーション内	短大部2年
4	10~14	月~金	随時	就職課	編入学希望者 個別相談	希望者
	13	木	5	1-405	愛知県警察官・音楽隊説明会	希望者
	10~19	月~水	—	自宅	学内就職模擬試験(第2回教員採用試験模擬試験)	音楽学部4年・短音2年
	17~21	月~金	—	1-7F	就職用写真撮影 ※いずれか1日	全員
	20	木	4	1-702	第15回就職ガイダンス(公務員受験対策 総まとめ)	全員
	27	木	4	11-101	カワイ音楽講師採用・グレード試験学内説明会	音楽学部・音楽科(全学年)
	27	木	4	1-405	愛知県外学生就職説明会(幼稚園・保育所)	保育科
5	8~17	月~水	—	自宅	学内就職模擬試験(第3回教員採用試験模擬試験)	音楽学部4年・短音2年
	11	木	4	1-702	第16回就職ガイダンス(面接対策講座No.2 総まとめ)	全員
	18	木	4	1-702	教員採用試験学内説明会	音楽学部3・4年短音1・2年
			5	1-702	愛知県教員採用試験説明会	音楽学部4年・短大2年
			5	1-405	名古屋市教員採用試験説明会	音楽学部4年・短大2年
	25	木	4	2-中アン	ヤマハグレード試験学内説明会	音楽学部・音楽科(全学年)
	後日指定				就職ガイダンス(音楽関係企業対策 音楽講師を除く)	音楽学部3・4年短音1・2年
6	8	木	4	1-701	キャリアガイダンス～社会で活躍するために～	音楽学部3・4年短音1・2年
	8	木	4	1-702	愛知県私立幼稚園連盟統一試験学内説明会(手続き&現状紹介)	保育科
	29	木	4・5	1-405 他	キャリアガイダンス～グループディスカッション講座～(仮名)	音楽学部3・4年短音1・2年
7	6	木	4	1-702	第17回就職ガイダンス(マナー講座No.2 総まとめ)	全員
	6	木	5	1-702	第18回夏期休業期間中の就職活動について	音楽学部4年・短音2年
	20	木	4	1-702	第19回夏期休業期間中の就職活動について	保育科
	上旬				就職課	保育科
11	3	金・祝	13:00	就職課	卒業生との就職懇談会	保育科

※ 上記講座内容は変更・追加することがあります。教室変更等に注意してください。

# クラブ紹介



	クラブ名	顧問教員	活動内容	活動場所
1	フラワーショット	大橋 廣	テニスを通じ、他学科、他学年の学生との交流を深める。心身を鍛え、テニスを楽しみ人間的に成長する。	東キャンパス
2	ミュージックボランティア	杉田 孝子	音楽活動及び音楽療法活動を行っている。	
3	ピンポン☆DASH	大橋 廣	卓球を通じて技術、体力、精神力の向上を目指し学生生活に活かす。	
4	ジャズ研究会	星 順治	1バンドが3~6人のため行動力に柔軟性があり、他校や学外の人とつながりを持つ事ができる。ライブ演奏を行い一般の人にもジャズの楽しさが伝わるように心がけている。	
5	ジャンパスイング	星 順治	ビッグバンドの演奏を通じて、楽器演奏の技術を高め、地域との交流をはかる。	
6	フットサル	大橋 廣	キャンパスライフをより充実したものに。フットサルを通じてチームワークと協調性を養い、人間関係を築き上げていく。	
7	ミックスマット	菅嶋 康浩	テニスを通じて、体を動かす楽しさを学び、精神的に成長することを目的とする。	西キャンパス
8	ゴンススキー部	大橋 廣	スキーを楽しみ、スキーに必要な体力を身につける。団体生活を通じて団結力を深め、社会に必要な礼儀を身につける。	
9	着付け	西村 正幸	着付けを通じて、日本に古くから伝わる「美」が、技術だけでなく精神を通じて作り上げるものだとことを学びとる。	
10	郷土文化研究	須田 真弘	様々な場所に赴き、その地方の文化を体感し、研究することで、郷土の文化とアートの関係性を模索する。	
11	空手	原田 久	空手を学び武道に通じる事で身体と精神の向上をはかる。	
12	バドミントン	岩井 義尚	バドミントンというスポーツをもって体を動かし多くの人と親睦を深める。	
13	サッカー	和田 義行	サッカーをしたい学生が集まり活動をしている。芸杯という伝統のサッカーの試合を毎年行っている。	
14	女子バレーボール	石田 直章	バレーを通じ健やかな精神と友情を育む。学連に登録し試合をすることで、勝つ事の喜び負ける事の悔しさを学ぶ。	
15	動画漫画研究	菅嶋 康浩	動画(アニメーション)、漫画の作品を制作する。互いに批評、研究することでそれぞれの表現能力の向上を図る。	
16	写真部	瀬田 哲司	写真技術の向上と写真表現の研究。写真部員同士による写真と美術デザインに対する関わり合いの研究。	
17	自由音楽	杉浦 尚史	音楽、映像による活動。イベントのための練習をしています。	
18	軽音部	津田 佳紀	音楽を通じて異なる学科との交流を深め、学校行事に積極的に参加し、大学生活の充実を図っています。部員はそれぞれグループに分かれてバンド活動を行い、楽器の上達、人との交流を深めています。	
19	卓球部	菅嶋 康浩	他の科とのつながりを持ち卓球を楽しむ。さらに技を極め、お互い尊重できる仲間との交流を心がける。大会に参加し、練習成果の実力を確認する。	
20	陶芸	神戸 峰男	陶芸というものづくりを通じ、他の科の学生との交流を深める。又、陶芸作品の制作販売を行う。	
21	サマータイムブルース(野球)	菅嶋 康浩	北名古屋市の人たちと野球を通じて交流を深める。チームの団結と体力の向上を目的とする。	
22	ファニシング	大崎 正裕	身の周りの生活に必要なものを自分で素材を選びデザインし作り上げる事で、物を大切にすることを気持ちを持ち、ものづくりのライフスタイルを確立する。	
23	剣道	菅嶋 康浩	日本の伝統格技の剣道を通じて心身を鍛えるとともに、楽しく交流を図ることを目的とする。	
24	版画	西村 正幸	版画の普及、版画を選択していない学生に体験してもらう。	
25	バスケットボール	和田 義行	バスケットボールの好きなもの同士集まり、バスケの技術向上を目的とする。	
26	バレーボール	萩原 清作	ふだんなかなか接する機会の少ない他の学年、学部などの枠をこえた交流の場として、また運動することで日頃の運動不足の解消の場としての活動を目的とする。	
27	演劇	須田 真弘	演劇を通じて、各自の表現力を高める。また、質の高い演劇作品を制作することでチームワークを養う。	
28	レーシング	萩原 周	交流、ツーリング、スキルの向上を通じてレーサーとしての心身の向上を目的とする。	
29	フォークギター	平田 哲生	ギターを通じ交流をもち、ともに音楽への興味関心を深め極めていく。	
30	ストリートダンス	池側 隆之	皆でたのしくダンスをして、新入生歓迎会や芸祭を盛り上げる。オールジャンルのダンスをし部員の個性をのびさせる。	
31	m & m ' s	フィリップ・ブース	洋画、洋楽を通じて外国の文化に触れ合い、お互いの視野の幅を広げるとともに楽しく活動する。英語力やデザイン力の向上に努める。	
32	映像美術研究 movie's	須田 真弘	映像の制作。コンクールやフェスティバル等に出品。ジャンルを問わずいろいろな作品を制作する。	

※ クラブ活動についての詳細は、各キャンパスの教務学生課へお問い合わせください。

# 親の想い

## 名古屋芸術大学にご縁をいただいて

美術学部 絵画科 日本画コース1年  
母 三輪 裕子

私の娘は今年、二浪を経て入学させていただきました。二年間、試行錯誤をし、希望の大学へ行きたいと努力致しました。でも試験日に風邪を引いてしまったり、鉛筆の芯を指に刺してしまったりと、どうしても初めの希望の大学にご縁がいただけず、最後にこちらの大学を受けさせていただきました。試験の面接の時、持参作品で先生に誉められたと聞き、もしかしたらこの大学が娘には一番合っているのではと思いました。

そして合格通知をいただき、入学して四ヶ月になりますが、最初の思い通り、とても娘に合った大学ようです。大学の雰囲気も良く、また、先生の指導も丁寧だと聞き、入学させて頂き本当によかったと思っております。娘自身も友達がたくさん出来、毎日楽しそうに通っております。

二年間、浪人して勉強して名古屋芸術大学に入らせていただいたのも、今はとてもよかったと思っております。今後、娘には、自分の個性を伸ばし、大学生活を楽しく、有意義に過ごして欲しいと思っております。

皆様、今後ともよろしく願ひいたします。



▲オープンキャンパスにて  
(写真と記事とは関係ありません)

## 名古屋の地にモンマルトルを

音楽学部 音楽文化創造学科  
音楽総合選択コース 1年 母 戸塚 直子

「東京の音大に行きたい」と言い出した息子に「音楽で飯が食えるか!」と、初めて大反対したのは、温厚な主人だった。説得出来なかった息子は、受験もせず「一年間働いて学費を金貯める」と言い働きに出た。息子の変わらぬ決意を知り、家族も諦め、1年遅れてやっと入学した。

幼馴染に「男の子が音大なんて良く許したね。金持ちだ一。東京に戻るの?」と言われた。ちなみに、わが家は金持ちでも、変人でもない。が、息子の気に入る音楽の仕事は、東京しかないのか?

「いい曲ができたから聞いて」と自作の曲を歌いだし陶醉している。久しぶりに見た息子の笑顔だ。「大声でご近所迷惑よ」と言いながらも笑えた。心癒される美しい音色。この子は優しい子なんだ。

音楽(ギター)を始めてまだ5年だが、続けさせ、芸大に入れて本当に良かった。と、今は思う。

パリにモンマルトルという街がある。昔から画家が多く住み、貧しい街だった。豊かな街へと、地元を愛する芸術家や地域住民が力を合わせ努力して生きてきた。観光地となり、世界中から芸術家の卵が集まるようになった今でも「昔と変わらず芸術を愛し、楽しみ、共存し暮らしている」と長老が言う。モンマルトルがあったからパリに芸術家が多いのか、はたまたその逆なのか。

名古屋にモンマルトルのような街が出来ればと、祈りつつ。



▲モンマルトルのシンボル  
サクレ・クール寺院

# 子の想い

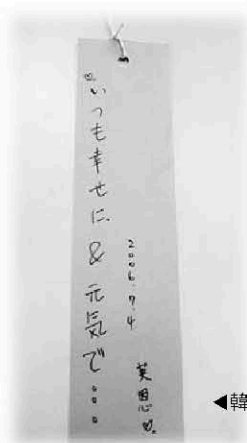
## 私の選んだ道

美術学部 造形科  
1年 菅沼 香奈

私には2歳上の姉がいます。小・中学校はもちろん、高校も姉と同じ学校を選んだ私は、大学も漠然と姉と同じでもいいかなと考えていました。特に得意な教科があるわけでもなく、好きな教科も自分ではわからないまま受験勉強をして大学受験に備えていました。もちろん、進学に関して、自分の意志も意欲もなかったのも、担任の先生に聞かれても『姉が行っているから、家から近いから』とそんな理由をあげていました。

しかし、やっぱりその考えは間違っていることに気がつきました。自分の好きなこと、勉強したいことを学ぶために大学へ行くはずなのに、姉の後を追っては自分のためにならない。そこで大学のホームページを片っ端から搜しました。一校一校搜して、私は名古屋芸術大学に魅かれました。いろんな工房がたくさんあってすごく感動しました。小さいころは絵や粘土が好きだったのに、高校では美術とは縁遠い生活をしていました。だからとても懐かしく感じ、作りたいという気持ちが強まりました。そこで祖母の知り合いの画家の先生の指導を半年受けました。時間がないという不安と、その先生がおっしゃられる内容が理解できずに苦しみ、向上しない自分にいらだちを感じながら、しかし充実した半年でした。

姉と違う道を見つけ、一人で頑張ろうと思いました。入学することができ、自然いっぱいキャンパスで今、とても幸せな時間を過ごしていると実感しています。



◀韓国からの留学生の願い

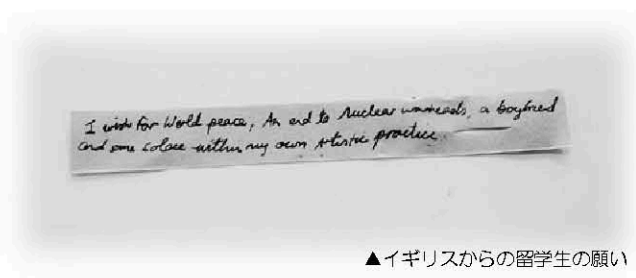
## 人との出会い

音楽学部 演奏学科 ピアノ選択コース  
1年 高岸 由佳

私が音楽をはじめたのは、3才の頃だった。最初は、幼馴染みの子と一緒にエレクトーンでグループレッスンを受けていた。しかし小1の時エレクトーンの先生が私と幼馴染みの子に『ピアノのコンクールに出てみない?』と言ってくれた。それがきっかけでピアノのコンクールに出る事になった。その頃は、ただの習い事としか思っていなかった。

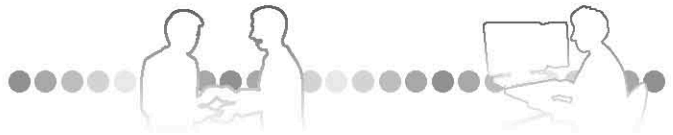
小2の頃、幼馴染みの子が引っ越すことになりそれぞれ違う先生の下、同じコンクールに出た。その時私は、初めて友達にライバル意識を持った。幼馴染みの子が入賞したからだ。私はすごく悔しくて泣いた。小3の時私は、幼馴染みの子と同じ先生に習う事を決めた。その先生に出会っていなかったら今の私はないだろう。悔しいという思いをしなければただの趣味でピアノは終わっていたと思う。その先生に出会ってから表現の楽しさを知り、ますますピアノが好きになった。そして、その先生と同じ名古屋芸術大学で同じ先生の下で学びたいと思った。

ピアノが好きでも曲が思うように弾けなかったり、先生に怒られたりして『何でピアノをやっているのだろう。やめたい!!』と思う事はある。しかし先生が怒って下さるのは愛のムチであり、怒られなくなったら楽しくないと思う。続けられるのは、コンクールや試験などでの独特な緊張感、誰かに自分の演奏を聴いてもらえる喜びがたまらなく好きだからだと思う。これから4年間、人との出会いを大切にいろんな事にチャレンジして頑張っていきたいと思う。



▲イギリスからの留学生の願い

## 先輩の活躍



### 心の支えは人の優しさ

2005年度 音楽文化応用学科  
サウンド・メディア選択コース卒業 丹羽 千晴

この仕事を始めて約3ヶ月。覚えることが多く、一つのことを覚えるのにもひと苦労でした。

私の仕事は、会館管理の舞台担当です。舞台上で使う道具等を用意するのはもちろんのこと、利用者や主催者の方とのコミュニケーションがとても大切な仕事です。今まで勉強してきた音楽のこととは若干違う仕事をしていますが、大学では学べなかったコミュニケーションの取り方を、実際に仕事をしながら学んでいます。

大学で多少の勉強はしていたものの、この業界では私はまだまだ新米。でも、利用者から見れば私はプロ同然。聞かれたことにはきちんと答えなければならないのに、曖昧に答えたり、自信なげに答えたりすることもありました。教えて

もらったことがなかなか覚えられなくて、自分自身が嫌になって泣きそうになったこともありました。そんな自分を支えてくれたのは職場の先輩や上司、この仕事が好きだという自分の気持ち、それから、利用者の「ありがとう」という言葉と笑顔でした。この道の人間としてはまだまだ未熟な部分が多いのですが、仕事を始めた頃に比べたら少しずつ自信を持つことができました。

今の私の心の支えは人の優しさ。技術も大事だとは思いますが、人間関係も大切だと思います。先輩たちの優しさにふれ、主催者や観客の笑顔にふれ、私は今の仕事に誇りを持ちながら、早く一人前になれるよう一生懸命頑張っています。

現在は嘱託職員という立場なので、4年間という期限があります。しかし、この期間をフルに生かし、正規職員への登用をめざしています。また、会館を利用される方々に「彼女が担当で良かった」と言ってもらえるようにこれからも頑張っていこうと思います。

(名古屋市文化事業団 勤務)

### 大切に育ててもらっている日々

2005年度 音楽学部 音楽文化応用学科  
音楽療法選択コース卒業 福山 涼

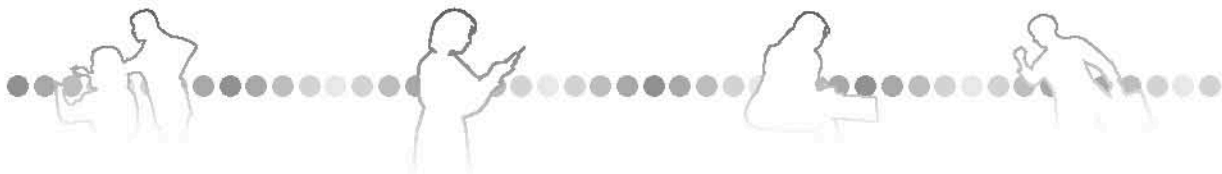
私は知的障害者の入所更生施設で生活支援員として、この4月から新しいスタートをきりました。私の勤める「ひまわりの風」の定員は男女合わせて約50名。18歳以上の知的障害を持つ方の生活の場として、自分の人生をただ"生きる"のではなく"豊かに生きる"ことを目指し、自らの意志で個々の人生を歩める様"できないことをそっと支える"援助を行っています。

働き始めて早、半年が経とうとしています。1日1日が発見・驚き・戸惑いの連続で、働き始めた当初はとにかく業務に追われ、利用者一人ひとりの方と接する時間を持つことでさえ充分にできませんでした。毎日毎日が自問自答の繰り返し…「これでいいのかなあ」と迷って悩んでばかりで、結局中途半端になってしまうことも何度かありました。自分で「こうだ!」と確信を持てる支援の仕方が見えなくても、やらなければいけないことは目の前に山積でドンドンとやってきます。どん

なに迷いや悩みがあったとしても、その中で自分が一番良いと思えることを丁寧にやっていくしかありませんでした。私にできることは、心を込めて丁寧に接することだけでした。利用者の方に本当に申し訳なく思うことも沢山ありました。けれど、そんな私を支えてくれていたのは、やはり利用者の方でした。面と向かって「頑張れ」なんてことは言われませんが、どこかでさりげなく優しく「私はあなたをちゃんと見てる」というメッセージを送ってくれます。これが私の力の源となっています。私は支援する側にいて、こういう風に言うのは変なのかもしれませんが、「利用者の方や先輩方に大切に育ててもらっている」…日々そう感じています。その優しく綺麗な気持ちに応えられるようになりたいと思っています。

もちろん、大学で学んだ音楽療法からも離れているわけではありません。私が仕事に慣れ始めた頃から、音楽療法の時間を週に1回持たせてもらっています。まだまだあれやこれやと試行錯誤している段階ですが、音楽を通して利用者の方と接することのできる私だけの強みをもっともっと活かしていけるよう、常に努力を怠れずに頑張っていきたいと思っています。

(社会福祉法人ひまわり福祉会「ひまわりの風」勤務)



## 仕事 VS 絵

2005年度 美術学部 絵画科  
日本画コース卒業 山田亜紀子

とにかく幅広いジャンルをこなさなければならぬ仕事をしています。アルバイトでも同じで、どこへ行っても絶えず学校へ通う感覚だな、と感じます。毎日違う事を覚え、勉強し、技術習得に励むのです。入って2か月もすれば、新入りなんて通用しません。上達の早い遅いに関わらず、お客さんはその店のプロとして見ます。「気負うな」と言われますが、実際にお客さんの前ではそうはいきません。必死です。

そうは言いつつ、仕事は楽しいものだし、お給料日も嬉しいですね（笑）お金を稼ぐ事に喜びを感じるのは健康な事なのです。常に美術に関わっていたいと思っていたので、毎日仕事に力を注いでいるわけですが、自分の作品制作の時間を犠牲にする事になりました…両立は難しいです。周りに、刺激し、高め合う仲間がいない環境で描いた作品は、どこか違うので、頭を抱える問題の一つになっています。

ですから、休みの日はなるべく大学へ行きます。名芸の先生や院生の友達は快く（??）迎えてくれますよ。

（美術品店アートギャラリーオイダ 勤務）

## 大谷 一郎

インダストリアルデザイン分野卒業  
三菱自動車工業株式会社勤務 カーデザイナー

自動車デザインに関わる全て（車体、内装からカラー、マークまで）や、イメージムービー等のコンセプトワークを手がけています。下の写真は私がデザインに関わったものです。「オブジェのようなフォルム」に込めたメッセージは、「まゆ」に包まれるような安全性や、「うさぎ」のように柔らかで軽快な走り、それに「まめ」から生まれる新芽のように新しい何かのきっかけになってほ



しいという思いです。それは小さな車の「新しい可能性」を探る試みであり、また白物化しているといわれる軽自動車デザインへの「新しい可能性」を提案する試みでもありました。「デザイン」が新しい何かの「きっかけ」になる…、多くの人にそう感じていただけたら嬉しいですよね。

### 大谷一郎（おおたに いちろう）

- ・1966年生まれ。1989年三菱自動車入社～現在
- ・名古屋芸術大学美術学部デザイン科工芸工業デザインコース 1989年卒

- 三菱自動車工業株式会社 デザイン本部
- 現在の仕事の内容・活躍 エクステリアデザイン業務を中心にコンセプトワーク等も担当
- 作品名称 i(アイ)、EK-SPORT 他





## ブライトン大学 ディグリーショー（卒業制作展） に参加して

デザイン学部長 和田義行

夕方ヒースローに到着。6月に入りイングランドも日が長くなり日本の3時頃の明るさ、ブライトン行きのバスステーションではさすが肌寒く日本の4月の気候、ウィンドブレーカーを一枚着込み、何やらもめていると思ったらバスが時間通りに来ないので、みなクレームをつけている。こういう所はイギリス人だなと感じつつ、目的のバスに無事に乗り込む事が出来たが、チケット売り場で言われたターミナルではなかった。2時間のバスに揺られ、羊や馬がのどかに牧草を食べている郊外の丘陵風景を楽しみながらブライトンピアに到着。

翌日から海外からの招待教授の顔合わせのプレオープニングパーティーから始まり、午



▲ベーカリーショップのショーウィンドディスプレイ

後名古屋芸術大学アワードの選考作業に入る。46点のノミネート作品を一つ一つコンセプトをアシスタントの女性に聞きながら選考を行い、入賞作品を決定した頃には夕方はとうに過ぎていた。

昨年はファッションデザイン科に優れた作品が多く見られたが、今回はファッションテキスタイルデザインwithビジネススタディー科の学生作品の仕事量やアイデア展開に目を見張る物があった。また建築科の作品も優れ、今年度は川の浄化が出来る機能を持った公共施設（プール）の提案作品のDavid Batey 君に1位を授与した。2位はウール素材のあらゆる織りの魅力を実験しファッションに完成させた、ファッション&テキスタイルwith ビジネススタディーのRebecca Hulbert さんの作品に。3位は同じくファッション&テキスタイルwith ビジネススタディーのRosie de Borman さんとダンス&ヴィジュアルアートのChloe Ostemoさんに授与した。その他すぐれた10点の作品に入賞を与えた。

学長のレセプション、ブライトン大学デザイン学科スタッフとの夕食会、郊外のRoyal Albion Hotel での昼食会、学生作品のファッションショーと時差の眠気と戦いながらスケジュールをこなした。最後に22年ぶりにRCA時代の友人に今回奇跡に近い再会がブライトン大学で出来た事に感謝、彼はプラハの芸大で教鞭を取っていることがわかり、来年は学生を連れて、彼の芸術大学を訪れる計画をたてようと思っている。



◀ファッションテキスタイルデザインwithビジネススタディーコースの卒業制作作品



◀名古屋芸術大学賞  
受賞者のみなさん

▼プロのモデルによる  
ファッションショー



◆2006年度  
名古屋芸術大学賞受賞者一覧

賞	副賞(奨学金)	科・コース	氏名
1等賞	400ポンド	Architecture	David Batey
2等賞	300ポンド	Fashion Textiles Design with Business Studies	Rebecca Hulbert
3等賞	150ポンド	Dance and Visual Art	Chloe Ostmo
3等賞	150ポンド	Fashion Textiles Design with Business Studies	Rosie de Borman
佳作	扇子	Three Dimensional Design	Bethan Wood
佳作	扇子	Fashion Textiles Design with Business Studies	Dulcie Wanless
佳作	扇子	Wood Metal Ceramics and Plastics	Lucy Peacock
佳作	扇子	Fine Art Painting	Lauren Paton
佳作	扇子	Fashion Textiles Design with Business Studies	Tammy Lai
佳作	扇子	Editorial Photography	Tess Hurrell
佳作	扇子	Architecture, for a joint project	Paul Hazell and Nick Jones
佳作	扇子	Fine Art Sculpture	Alice Cunningham
佳作	扇子	Illustration	Bryony Birkbeck
佳作	扇子	Digital Music	Sam Barker

## 交換留学生 ウェルカムパーティ



▲西キャンパス学食にて

去る5月11日(木)午後5時から西キャンパス学生食堂北側にて国際交流センター主催の交換留学生ウェルカムパーティを開催しました。この催しは、4月にイギリスやフランス、韓国から来日した東西キャンパスの交換留学生たちと本学学生たちとの交流を目的に企画したものです。

生駒国際交流担当の進行により始まった立食パーティーは、留学生の自己紹介へと繋がり、ウェルカムの気持ちが多分にこもった気軽な明るい雰囲気にて盛況うちに終了しました。

多くの参加者の中には、授業などで以前から会って互いに交流していた本学学生もいて、彼らは留学生たちとの談笑に時間を忘れていたようです。

留学生たちも親元を離れた気楽さと未知なる異国の文化への期待とが相まった表情をしていて、それがとても魅力的でした。その光景を見るにつけ、言葉の壁をものもしない若者に畏敬の念を抱きつつ、この交流の重要性を改めて認識した思いがしました。この企画は今後も継続予定です。

国際交流センター長

美術学部教授 大崎 正裕



## 2006年度前期 交換留学生作品展

毎年恒例の交換留学生による作品展が、7月14日(金)から7月19日(水)まで、本学アート&デザインセンターにて開催されました。

今回はイギリス・ブライトン大学より4名(Eleanor Nicholls、Sarah Fotheringham、Theresa Martin、Patrick Minnikin)、韓国・龍仁大学より2名(金 アルム、李 基遠)、韓国・慶南大学より1名(金 英恵)、フランス・ディジョン芸術大学より1名(Cecile Ferard)、計8名の交換留学生が参加しました。

出品内容は、パネル、写真、スクリーンプリント、油絵、鉛筆画、模型、ガラス、映像などと多彩で、多くの作品に、彼らが日本に来て出会った人・物・風景などが、それぞれ



▲自作について説明する、慶南大学の金さん

の感性を通して表現されていたのが印象的でした。例えばある留学生は、来日前に想像していた日本人のイメージを人物型の立体パネルで、来日後に知った日本人の姿を鉛筆画で対照的に表現していました。また、食料品などのパッケージの断片を切り貼りし日本の風景に見立て、その中を外国人である主人公がどんどん歩いて行く…というストーリーの映像作品もありました。彼らが新鮮な驚きをもって日本での生活を送っていたであろうことが想像されます。日本に暮らす私達も、異文化というフィルターを通してみると、当たり前と見過ごしていたことにも新たな発見ができるかもしれません。

この作品展は、交換留学生の半期ごとの研究成果を発表するものですが、本学の学生にとっても、制作への新しい発想を得たり、留学生に接し国際交流を体験する機会となることを期待しています。

(芸術文化交流室)



▲作品を出展した交換留学生の皆さん

## 2006(平成18)年度 名古屋芸術大学音楽学部主催による演奏会案内

(※予定につき変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。)

2006

### 7 July

#### 第8回 ピアノコンチェルトの夕べ

指揮/古谷 誠一  
管弦楽/名古屋芸術大学オーケストラ  
日時/7月19日(水) PM6:30開演  
会場/しらかわホール  
入場料/無料

### 8 August

#### 第8回 ピアノ・サマーコンサート

日時/8月5日(土) PM4:00開演  
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール  
入場料/無料

### 9 September

#### 名古屋芸術大学ウインドオーケストラ 第25回 定期演奏会

指揮/ヤン・ヴァン＝デル＝ロースト  
竹内 雅一  
曲目/M.ムソルグスキー(高橋徹編曲)  
組曲「展覧会の絵」  
日時/9月7日(木) PM6:30開演  
会場/愛知県芸術劇場コンサートホール  
入場料/1000円

### 10 October

#### 名古屋芸術大学オーケストラ 第24回 定期演奏会

指揮/古谷 誠一  
日時/10月20日(金) PM6:45開演  
会場/愛知県芸術劇場コンサートホール  
入場料/1000円

#### 研究生特別演奏会

日時/10月26日(木) PM5:00開演  
会場/しらかわホール  
入場料/無料

### 11 November

#### 第14回 ピアノの夕べ

日時/11月9日(木) PM5:30開演  
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール  
入場料/無料

#### 第29回 定期演奏会

日時/11月16日(木) PM6:00開演  
会場/しらかわホール  
入場料/無料

### 12 December

#### 電子オルガン演奏会

日時/12月6日(水) PM6:30開演  
会場/熱田文化小劇場  
入場料/無料

#### 第25回 室内楽の夕べ

日時/12月7日(木) PM6:00開演  
12月8日(金) PM6:00開演  
会場/熱田文化小劇場  
入場料/無料

#### 平成18年度 音楽企画(4) “ザ・ルネッサンス21”

指揮/高谷 光信  
管弦楽/セントラル愛知交響楽団  
日時/12月21日(木) PM6:30開演  
会場/しらかわホール  
入場料/1・2階席 2000円  
パルコニー席 1000円

2007

### 2 February

#### 第5回 歌曲の夕べ

日時/2月8日(木) PM6:30開演  
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール  
入場料/無料

#### 平成18年度 研究生修了演奏会

日時/2月15日(木) PM6:00開演  
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール  
入場料/無料

#### 大学院音楽研究科特別演奏会

日時/2月16日(金) PM5:30開演  
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール  
入場料/無料

#### 第11回 春のコンサート ピアノのしらべ

日時/2月24日(土) PM5:00開演  
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール  
入場料/無料

#### アンサンブル・フィラルモニク・ア・ヴァン 第8回 定期演奏会

指揮/小野川昭博  
日時/2月24日(土) PM6:00開演  
会場/名古屋市民会館 大ホール  
入場料/1000円

### 3 March

#### 第34回 卒業演奏会

日時/3月1日(木) PM6:00開演  
3月2日(金) PM6:00開演  
会場/しらかわホール  
入場料/無料

#### ミュージカル公演

脚本・演出/森泉 博行  
音楽/井上 堯之、長谷川雅大  
振付/名倉加代子  
指揮/竹内 雅一  
演奏/名古屋芸術大学ウインドオーケストラ  
日時/3月3日(土) PM6:30開演  
3月4日(日) PM2:00開演  
会場/アートピアホール  
入場料/1000円

#### 大学院音楽研究科 第9回 修了演奏会

管弦楽/コレギウム アカデミカ  
(本学の教員を主体に編成された  
オーケストラ)  
日時/3月6日(火) PM6:30開演  
3月7日(水) PM6:30開演  
3月8日(木) PM6:30開演  
会場/しらかわホール  
入場料/無料

#### 第29回 オペラ公演「カルメン」

演出/Dario Ponissi(ダリオ・ポニッスイ)  
指揮/古谷 誠一  
管弦楽/名古屋芸術大学オーケストラ  
日時/3月16日(金) PM6:00開演  
会場/名古屋市民会館 大ホール  
入場料/指定席(1・2階席)1500円  
自由席(3・4階席)1000円

#### オペラ豊田公演「カルメン」

演出/Dario Ponissi(ダリオ・ポニッスイ)  
指揮/古谷 誠一  
管弦楽/名古屋芸術大学オーケストラ  
日時/3月18日(日) PM3:00開演  
会場/豊田市民文化会館 大ホール  
入場料/指定席(1階席)1500円  
自由席(2階席)1000円



●お問い合わせは●

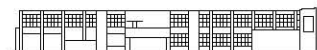
名古屋芸術大学音楽学部 演奏課  
〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281  
TEL (0568) 24-5141(直)・0315(代)

## アート&amp;デザインセンター 2006/2007 展覧会スケジュール

2006	
会 期	展 覧 会
4月7日(金)～4月19日(水)	デザイン科選抜レビュー展
4月21日(金)～4月26日(水)	iQue Mexico!
4月21日(金)～4月26日(水)	A thing to do (版画)
4月21日(金)～4月26日(水)	10階催事場展
4月28日(金)～5月10日(水)	スイッチ展
4月28日(金)～5月10日(水)	novels (写真部)
5月12日(金)～5月17日(水)	意識/無意識
5月12日(金)～5月17日(水)	『@nimation. アニメーション』展
5月19日(金)～5月24日(水)	書道芸術演習・作品展
5月19日(金)～5月24日(水)	「結婚します、」
5月26日(金)～5月31日(水)	野口翠蓮展「猫の目」(洋画卒業生)
5月26日(金)～5月31日(水)	三人展(洋画)
6月2日(金)～6月14日(水)	FROM REMISEN #8 Inge-lise Ravn+Lene Juhler
6月16日(金)～6月27日(火)	企画展1 水野シゲユキ展「廃墟の小宇宙」 —求道としてのプラモデル—
6月16日(金)～6月28日(水)	マラ工科大学滞在制作展
6月30日(金)～7月5日(水)	素材。展
7月7日(金)～7月12日(水)	洋画コース3年選抜展
7月14日(金)～7月19日(水)	前期交換留学生作品展
7月20日(木)～9月12日(火)	夏期休館
9月16日(土)～9月17日(日)	「動物園、そう言えば行ってないね」
9月22日(金)～9月30日(土)	"Come dy" ソフトスカルプチャーへ展 VI
10月5日(木)～10月18日(水)	企画展2 ジョージ・ハーディ展「MANUAL マニュアル」
10月20日(金)～10月25日(水)	幼稚園児たちのゲーシツ展
10月27日(金)～11月8日(水)	企画展3 「Slow Tech」 Media art from Taipei
11月10日(金)～11月15日(水)	洋画大学院+教員展
11月18日(土)～11月29日(水)	境界から見えるもの(仮)
12月1日(金)～12月6日(水)	工芸選択コース作品展
12月8日(金)～12月13日(水)	日本画3年作品展
12月8日(金)～12月13日(水)	古美術デッサン展
12月15日(金)～12月20日(水)	名古屋芸術大学後期交換留学生作品展
12月21日(木)～1月5日(金)	冬期休館
2007	
1月6日(土)～1月13日(土)	JAGDA新人賞展
1月15日(月)～1月18日(木)	大学院論文等審査試験1
1月22日(月)～1月25日(木)	大学院論文等審査試験2
1月27日(土)～2月7日(水)	AFTER REMISEN ;
2月8日(木)	版画選択コース卒業制作最終審査
2月9日(金)～2月10日(土)	ID/SD卒展プレ展示
2月14日(水)～2月17日(土)	大学院研究報告会1
2月21日(水)～2月24日(土)	大学院研究報告会2

◎スケジュールは変更になる場合がありますので、事前のご確認をお願いいたします。

## Art & Design Center



名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市穂豊西沼65番地 tel.0568-24-0325 fax.0568-24-0326

## 後援会授業料貸付事業

長い不景気が続いています。なかなか不況のトンネルを抜け出すことができません。こんな状況の中で決して安いとは言えない芸術系大学の授業料は、苦しい家計を直撃しているのではないかと思います。こうした状況の中で、保護者が亡くなられたり病気になるれたり、失業された家庭は、ひどく大変だと思えます。こうした家庭の学生諸君の少しでも助けになればと考えて始められたのが、後援会の授業料貸付事業です。1993年にこの事業が始まってから、現在までに50数名の学生諸君がこの事業の恩恵を受けています。

後援会員の皆さんが納められた会費を、この事業の基金としているため、むずかしい条件がついていますが、次の貸付規程を読まれて、後援会の授業料貸付事業を活用していただけたらと思います。

### 名古屋芸術大学後援会学費資金等の貸付規程

#### (目的)

第1条 名古屋芸術大学後援会（以下「後援会」という。）が行う学生の福利厚生事業の一環として、家計急変等により学費の納入が困難な学生に対し、後援会が学費を貸し付けることにより修学を援助することを目的とする。

- (1) 後援会貸付金借用願
- (2) 貸付金返済計画書
- (3) 学費貸付希望者の所属する学科長の推薦書
- (4) 学費貸付希望者の属する世帯の1年間の総所得金額を証明する書類。

#### (定義)

第2条 この規程により学費の貸付を受ける者を、名古屋芸術大学後援会学費貸与生（以下「貸与生」という。）と称する。貸付する学費を名古屋芸術大学後援会貸付金とする。

#### (借用手続・借用証書)

第10条 学費貸付決定者は、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

- (1) 借用証書（借用願と同じ保証人および連帯保証人の連署を要する）
- (2) 貸付金返済計画書に基づく同意書
- (3) 銀行口座振替依頼書（自動送金サービス用）（学籍を離れる時に提出するものとする）

#### (資金)

第3条 学費貸付金は次の資金をもってこれにあてる。

- (1) 後援会学費貸付口座預金
- (2) この規程に基づく返還金
- (3) 寄付金・その他の収入

#### (返還及期間)

第11条 貸付金は、学籍を離れてから3年以内で返還しなければならない。ただし、借用願出の際に虚偽の記載があった時は、直ちに返済するものとする。

- 2 返還方法は、一括返済または元金均等割とする。
- 3 貸付金の返還は、いつでも繰り上げて返還することができる。
- 4 返還は、学生部教務学生課を窓口とする。

#### (貸付額)

第4条 該当学年の学生納付金半期分以内とする。

- 2 貸付金は無利息とする。
- 3 未返済金がある者に対しては、貸し増しは行わない。

#### (返還猶予)

第12条 貸与生が傷病・その他やむを得ない事由によって返還猶予を願い出たときは、相当と認める期間猶予することができる。

#### (貸付方法)

第5条 学費貸付は、大学授業料口座への振込みによって行う。

#### (権限委任)

第13条 この規程に基づく学費貸付金の貸付手続き及び返済收受等の一切の権限を学長に委任するものとする。なお、この規程で疑義が生じたときは、会長と学長が協議のうえ決定する。

#### (審議)

第6条 貸与生及び貸付額の決定に関しては、学生部長が大学の全学教務学生委員会の審議を経て、後援会会長に推薦する。

#### (貸与生の決定)

第7条 貸与生の決定は、後援会会長が行なう。

#### (貸与生の選考基準)

第8条 貸与生の選考基準は、以下に基づいて選考する。

- (1) 1年以上継続した本会会員の子弟であること。
- (2) 家計急変等のため本学に修学することが、特に困難であること。
- (3) 応募者の属する世帯の1年間の総所得金額が独立行政法人日本学生支援機構の収入基準以下であること。
- (4) 修学に十分耐うるものと認められること。

#### (改廃)

第14条 この規程の改廃は、後援会の総会の議を経て会長が行なう。

#### (申請手続)

第9条 学費貸付を希望するものは、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

なお、手続は学生部教務学生課を窓口とする。

#### 附則

- 1 この規程は昭和61年7月1日から適用する。
- 2 この規程は昭和63年4月1日から適用する。
- 3 この改正規程は平成16年4月1日から適用する。
- 4 この改正規程は2005年(平成17年)4月1日から適用する。

# 名古屋芸術大学後援会会則

- 第1条 本会は名古屋芸術大学後援会（以下「本会」という）と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。
- 第2条 本会は名古屋芸術大学の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。  
 (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。  
 (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。  
 (3) その他本会の目的達成に必要と認める事業。
- 第4条 本会は名古屋芸術大学学生の保護者または、これに代わる者及び役員会が認めた本学卒業生の保護者をもって組織する。
- 第5条 本会に次の役員をおく。  
 会長1名、副会長4名、監事1名、会計監査2名、書記2名、会計1名
- 第6条 本会の役員選出は次の方法による。  
 (1) 役員は総会において会員の中から選出する。  
 (2) 役員任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 第7条 本会役員任期は次のとおりとする。  
 (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐、会長事故ある時はその代理をする。  
 (2) 監事は会務を監査する。  
 (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。
- 第8条 本会の会議は総会、役員会とし、議長はその都度選出する。
- 第9条 定期総会は原則として年1回、5月に会長が招集する。必要と認めた場合臨時総会を開くことができる。
- 第10条 総会は次の事項を審議・決定する。  
 (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関すること。  
 (2) 会則の改定、会の解散に関すること。  
 (3) 役員を選出、その他の役員が必要と認めた事項。
- 第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した者の過半数をもって議決する。
- 第12条 役員会は出席役員で成立し、会長が招集、議事は出席役員過半数で議決する。役員会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。
- 第13条 本会に顧問をおくことができる。顧問は役員会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。
- 第14条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降年額10,000円とする。
- 第15条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第16条 本会則の運営に必要な事項は、役員会の議を経て会長が定める。
- 附則 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。  
 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し実施する。  
 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。

## 名古屋芸術大学後援会の弔意に関する内規

- 1 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金1万円を給付する。
- 2 保護者（父・母）が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金5,000円を給付する。
- 3 役員2親等血族および1親等の姻族が死亡した場合は、弔慰金として5,000円を給付する。
- 4 弔慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
- 5 この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会に事後報告する。

附則1. この内規は、慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。

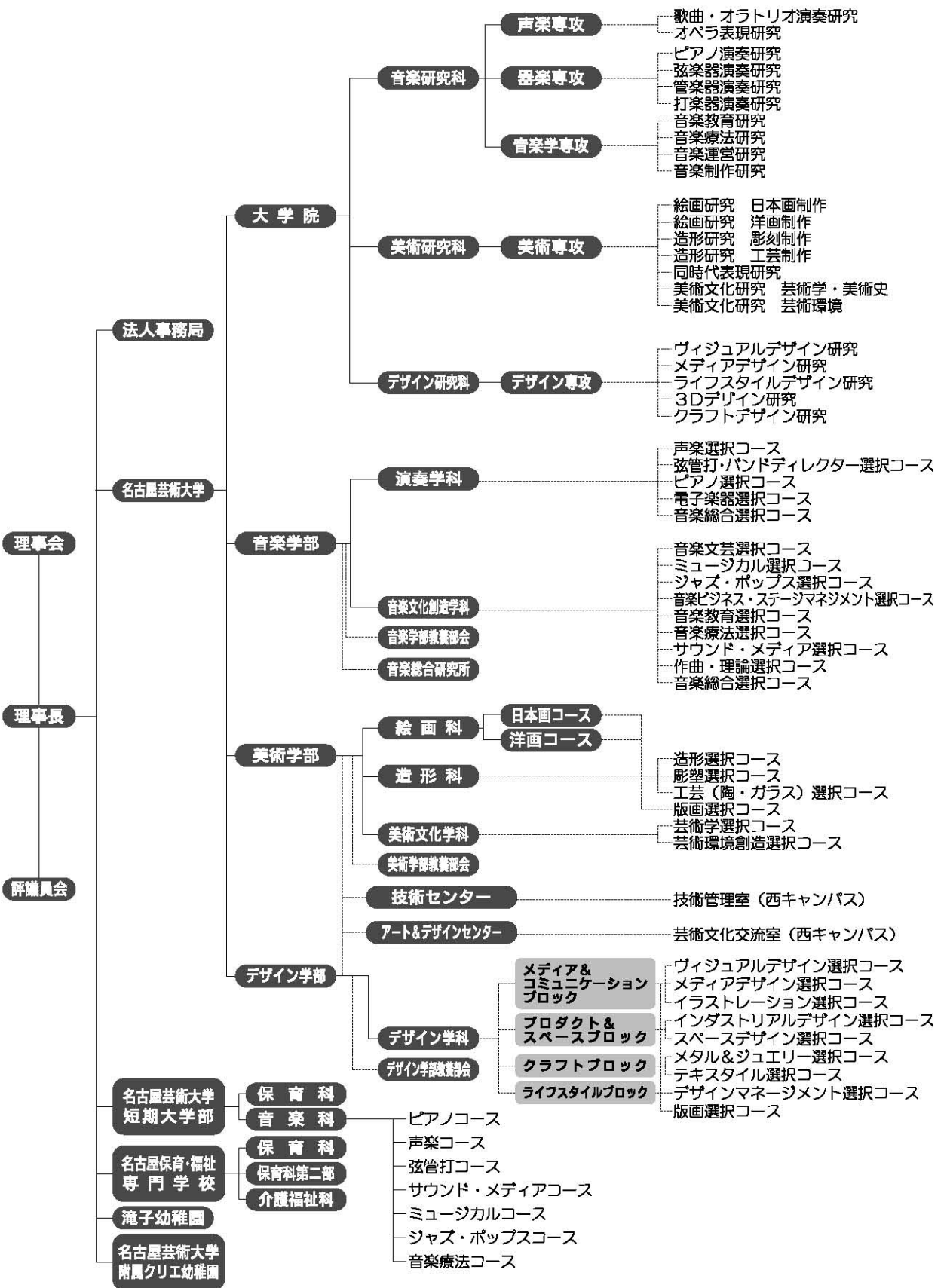
附則2. この改正内規は、2008年6月1日より施行する。

## 名古屋芸術大学後援会顧問の委嘱に関する内規

- 1 名古屋芸術大学の顧問は、原則として、役員会の承認に基づき、会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
- 2 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
- 3 この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会の承認を得るものとする。

附則 この内規は2005年（平成17年）4月1日から適用する。

## 名古屋自由学院組織図





## ■「木祖セミナーハウス」をご利用ください

**所在地：**〒399-6203 長野県木曾郡木祖村大字小木曾4793

電話：0264-36-2570

**アクセス：**①マイカー利用—中央自動車道中津川インターより国道19号で90分走行、藪原より村道15分

②公共交通機関利用—JR中央西線藪原駅下車

バス利用25分「五月日（ごがつひ）」下車徒歩10分、

またはタクシー利用10分（要予約TEL. 0264-36-2403やぶはらタクシー）

**利用できる期間：**通年（ただし、12月30日～1月2日は休業）

**利用できる方：**①名古屋芸術大学ほか学校法人名古屋自由学院傘下の学校の学生・園児

②学校法人名古屋自由学院の教職員・その家族

③①の学校の卒業生・その家族

④その他特に使用が認められた方

（①の学生・園児の家族など）

（③④の方は、①②の方の紹介が必要です。）

**利用料（食事代は含まない）：**学生 1,000円

園児 500円

教職員 1,500円

その他 2,000円

（同伴の3歳以上小学生以下は1,000円、2歳以下は無料）



**食事：**利用申し込みの際に予約してください。（料金は夕食1,500円、朝食500円）

**利用申し込み手続き：**下記申し込み先へ、電話で仮予約をしてください。その後の手続きは、そのときにご説明します。

**付近の観光スポット：**「こだまの森」（テニスコート・プール・パターゴルフ・ピクニックガーデン・多目的運動場・バーベキューハウス・巨大迷路・溪流釣りなど）、やぶはら高原スキー場、木曾福島、上松、寝覚の床、野麦峠、上高地、白骨温泉、乗鞍高原など

**問い合わせ先・申し込み先：**学校法人名古屋自由学院法人事務局総務部総務課（TEL. 0568-24-0311）

### 編集後記

今年度は、前学長の大島先生が退任され、新しく、榊先生が学長となりました。大島前学長の築かれた名古屋芸術大学を守りつつ、より一層充実した大学へと進めていって下さることを期待しています。名古屋芸術大学の様々な挑戦・研究への熱意・努力に感謝しながら、後援会も前向きに活力を持って、力強く進んでいきたいと思っています。

今日、新しいデザインの後援会報表紙で、新しい内容いっぱいの41号を発行することができました。後援会会員の皆様には、大学行事に積極的に参加していただき、子ども達と共に、学習・研究・追求し、親子で学び、楽しんで行こうではありませんか！

どうかよろしくお願い致します。

広報委員長 柘植久美子

◆発行 名古屋芸術大学後援会

〒481-8535

愛知県北名古屋市徳重西沼65番地

TEL 0568-24-0325 FAX 0568-24-0326

◆編集 名古屋芸術大学後援会 広報委員会

◆表紙デザイン

本学デザイン学科学生 武藤 理恵子

◆封筒デザイン

本学デザイン学科卒業生 福見 光洋

◆発行日 2006年（平成18年）9月20日

